

平成 28 (2016) 年度後期
学生による授業評価アンケート
分析報告書

平成 29 年 7 月 26 日

國學院大學

教育開発推進機構 教育開発センター

平成 28 年度後期学生による授業評価アンケート分析報告書の刊行に寄せて

教育開発センター長

柴崎 和夫

平成 28 年度後期実施の授業評価アンケート分析報告書が完成いたしましたので、皆様にお届けいたします。授業評価アンケートの分析報告書としては、これまでに刊行されたものと、基本的には同じになっています。

このような報告書がどのように授業改善に役立っているのかという、厳しい問いかけがあるのも事実です。そもそも授業評価アンケート実施それ自身にも、どのような意味があるのかという問いかけがあります。授業評価アンケートを実施する事がどのような成果を生んでいるのか、あるいは成果が出ていないのか、を検証する時期であると考えています。

さて、アンケート実施方法が完全 Web 化されて3回目のアンケート実施でした。いわゆる回答率は、残念ながら、漸減しています。回答率の向上には、授業時間内で教員が学生に回答を呼びかける（答える時間を取る）のが最も有効であることが判明していますので、今後も教員への呼びかけを続けるとともに、なにか工夫ができないか考えたいと思います。回答率を向上させることは、アンケートの有効性を生む第一歩となると、個人的には考えています。

毎回同じ事を述べていますが、教員が自身の授業内容・授業方法・授業計画の振り返りを行うときに、他者の目は大変重要です。それが、授業を受けている学生のものであるのですから、学生による授業評価アンケートは授業の振り返りに資する部分が一層大きいと考えられます。謙虚に分析報告書の結果を眺め、ご自身の授業改善、新たな授業計画作成に役立てていただきたいと思います。

授業評価アンケートは、学生の協力があって実施できています。協力してくれた学生への説明責任を果たすという意味でも、学生の評価結果、それを受けての教員の取り組み状況について、明らかにしていく必要があると考えています。繰り返しになりますが、どうぞ教員の方々は、分析結果を有効に利用していただきたいと思います。

目 次

平成 28 年度後期学生による授業評価アンケート分析報告書の刊行に寄せて	3
1. 調査の概要.....	7
1-1 調査目的.....	9
1-2 調査方法.....	9
1-3 調査対象科目	9
1-4 調査期間.....	10
1-5 回答率	10
1-6 回答の内訳.....	10
1-7 設問.....	11
2. 集計結果.....	13
2-1 設問別集計（開講科目の所属別に集計）	15
2-2 専任及び兼任教員の到達目標の達成度・満足度順位（ベスト30）	25
2-3 達成目標の到達度・満足度・授業外学修時間でみた教員の分布.....	32
3. 考察（1）設問間のクロス表分析	35
3-1 全体集計.....	37
3-2 シラバスの事前講読の有無と学生の授業に対するかまえ（Q4 と Q10）	38
3-3 教員の指示と学生の授業に対するかまえ（Q6 と Q10）	39
3-4 授業の進め方と到達目標の達成度合い（Q9 と Q13）	40
4. 考察（2）本学学士課程教育の授業外学修時間の現状	41
4-1 学士課程全体	43
4-2 回答学生の所属学部別.....	44
4-3 回答学生の所属学科別	45
4-4 回答学生の学年・所属学部別.....	46
4-5 回答学生の学年・所属学科別.....	47
4-6 学生の授業に対するかまえと授業外学修時間	48
4-7 学生の授業に対するかまえと到達目標の達成度による分析.....	49
4-8 学生の授業に対するかまえと到達目標の達成度からみた学修時間の分布	50
5. まとめ	55
資料編.....	61
集計データ.....	63

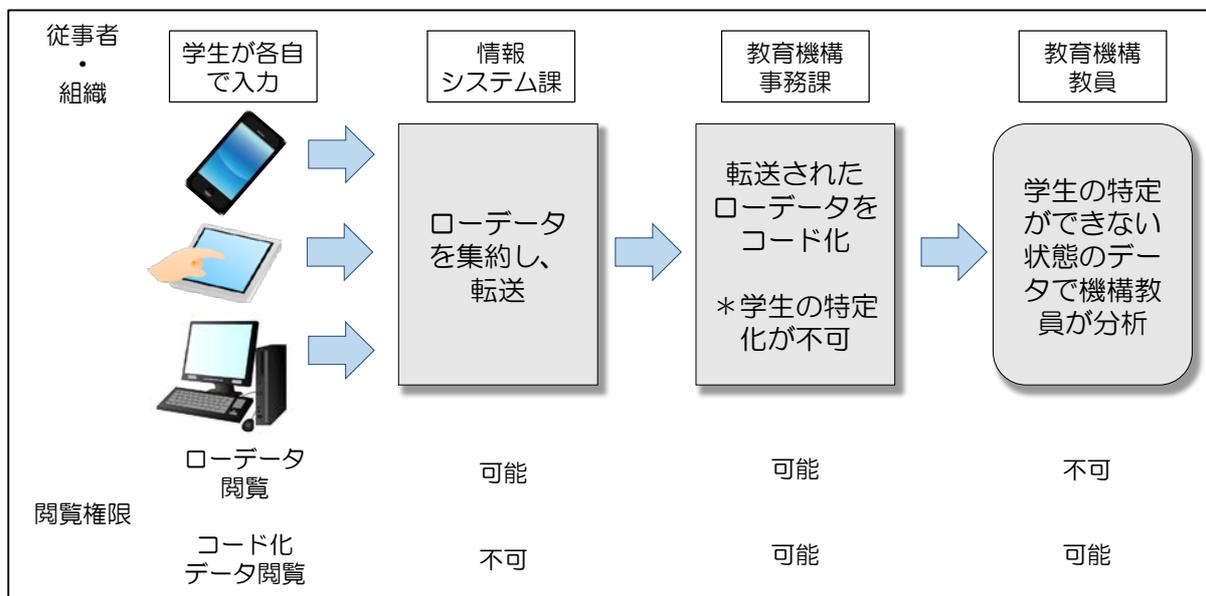
1. 調査の概要

1-1 調査目的

本学学生の授業に対する取り組みの実態を把握し、授業改善の基礎資料とすること、さらには基礎資料の活用により教員に自らの授業運営を振り返る機会を提供することで、学修効果を改善させ、本学学士課程教育の質保証を達成することを目的とする。

1-2 調査方法

- 従前のアンケート用紙の配布による紙媒体での実施から、本学の学生支援システムである K-SMAPY による実施へ変更（WEB 化）
- K-SMAPY での実施に伴い配慮すべき学生個人情報の管理については、教育開発センター委員会での議論に従い、細心の注意を払う体制を構築する。
- 具体的な調査手順・体制は、以下のとおり。



平成 28 年度後期授業評価アンケートの実施方法と各課職員及び教員の役割

1-3 調査対象科目

- 原則、全授業科目を対象とするが、下記の授業科目については、実施を見送った。
 - 卒業論文指導科目
 - 政治インターンシップ
 - インターンシップⅡ
 - 教育実習ⅠB（事後指導）
 - 博物館実習Ⅲ（実地見学）
 - その他、サマーセッション等の集中講義科目

1-4 調査期間

平成28年12月16日(金)～平成29年1月23日(月)

1-5 回答率

回答件数	22,453 件
履修登録者数	105,137 件
回答率	21.4%

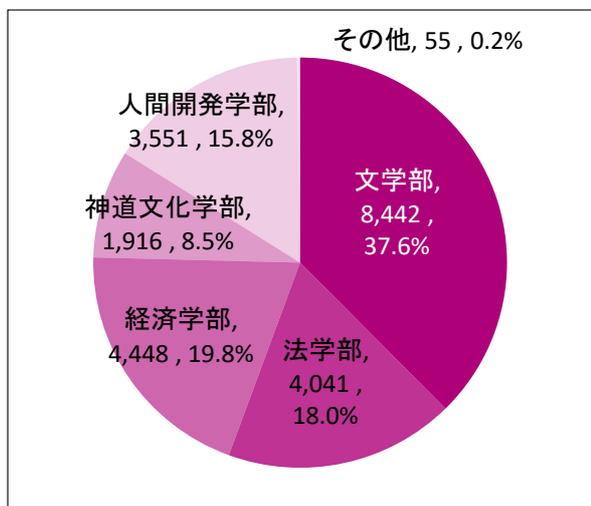
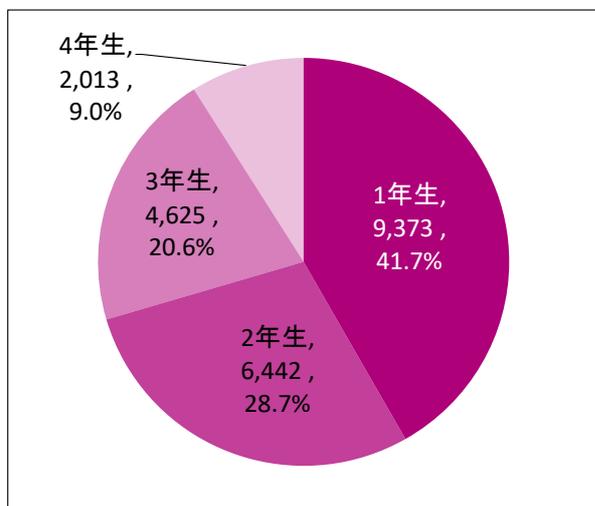
1-6 回答の内訳

回答した学生の学年

1年生	9,373 件
2年生	6,442 件
3年生	4,625 件
4年生	2,013 件

回答した学生の所属学部

文学部	8,442 件
法学部	4,041 件
経済学部	4,448 件
神道文化学部	1,916 件
人間開発学部	3,551 件
その他	55 件



1-7 設問

平成 28 年度後期学生による授業評価アンケート設問項目一覧

設問 番号	設 問 項 目
1	教員の説明や指示は明確で聞き取りやすかったですか。
2	教員は授業中、学生に対して積極的な発言や参加を促していましたか。
3	教員の板書や教材（配布資料や映像・情報機器等）の利用は、授業内容の理解に役立ちましたか。
4	あなたはシラバスを読んだ上で授業に臨みましたか。
5	教員はシラバスに基づいて、授業を進めていましたか。
6	教員は予習・復習に関する指示を出していましたか。
7	あなたから見て、他の履修学生はこの授業に真剣に取り組んでいましたか。
8	1 回 1 回の授業ごとに学ぶべき内容（単元）が整理されていましたか。
9	毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていましたか。
10	あなたは予習・復習をするなどこの授業に意欲的に取り組みましたか。
11	あなたにとってこの授業の難易度・レベルは適切でしたか。
12	この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか。
13	あなたはこの授業の到達目標を達成できたと思いますか。
14	あなたはこの授業を履修して良かったですか。
15	あなたはこの授業 1 回あたり、平均して何分の授業外学修（予習復習課題等）時間をとりましたか。 *0 分から 300 分の範囲で、算用数字で記入してください。例 95
16	あなたがこの授業でとても良いと思ったことを書いてください。
17	あなたがこの授業で改善した方が良いと思ったことを書いてください。

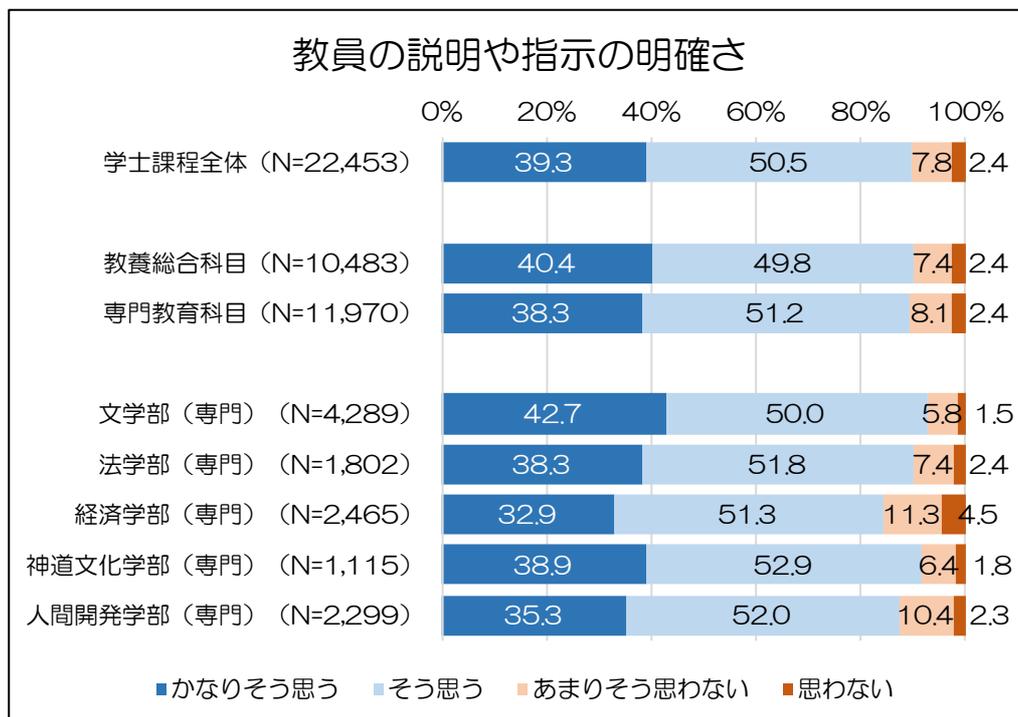
（注意）

- 設問 1～14 までは 4 件法の選択回答（必須回答）
- 選択肢は以下のとおり
1：思わない 2：あまりそう思わない 3：そう思う 4：かなりそう思う
- 設問 15 は実数値を 0～300 分の範囲内で入力
- 設問 16 及び 17 は自由記述形式

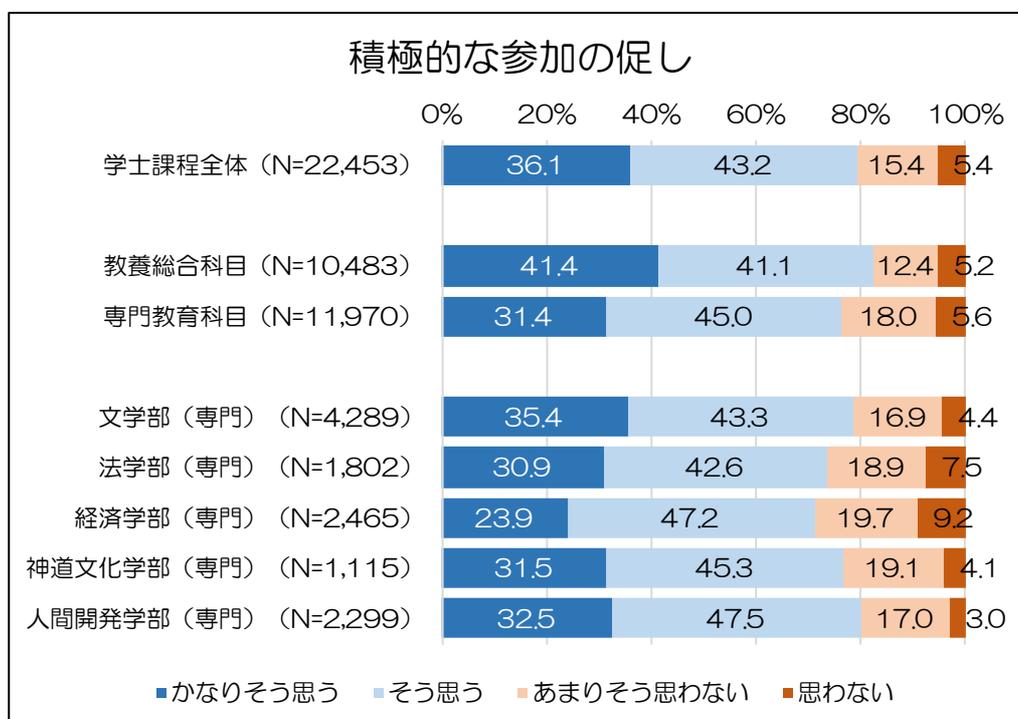
2. 集計結果

2-1 設問別集計（開講科目の所属別に集計）

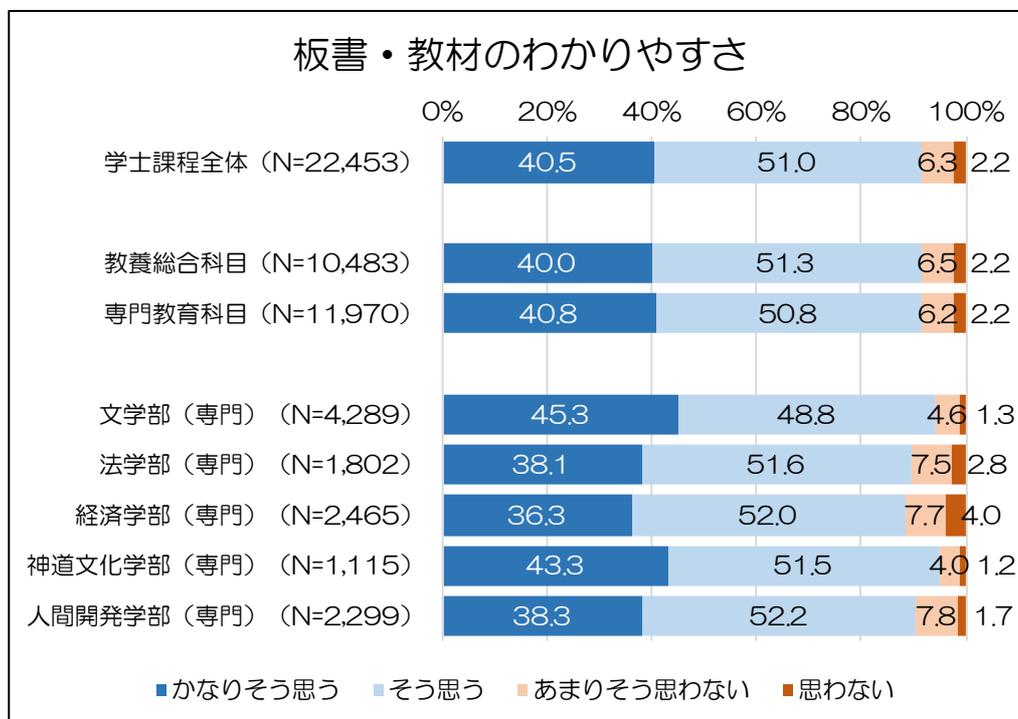
Q1 教員の説明や指示は明確で聞き取りやすかったですか。



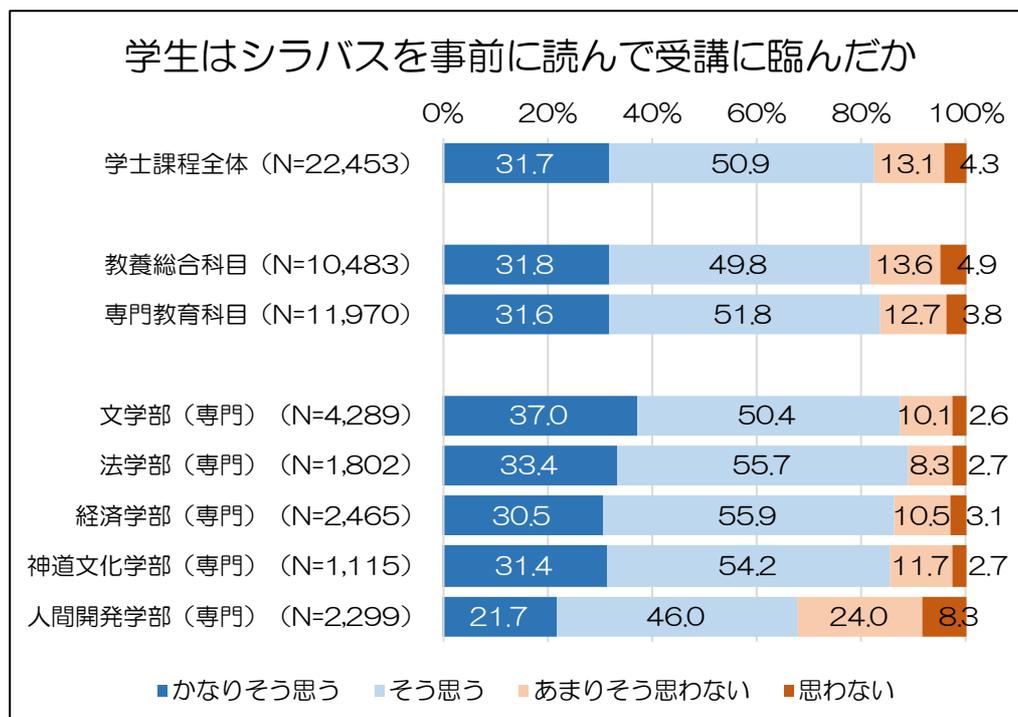
Q2 教員は授業中、学生に対して積極的な発言や参加を促していましたか。



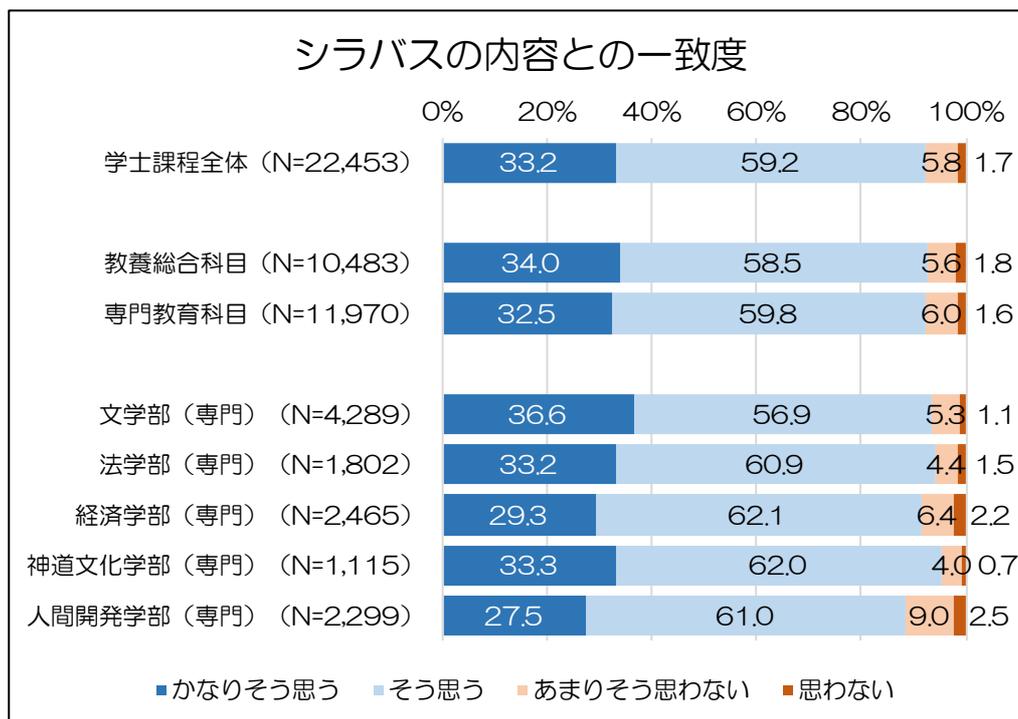
Q3 教員の板書や教材（配布資料や映像・情報機器等）の利用は、授業内容の理解に役立ちましたか。



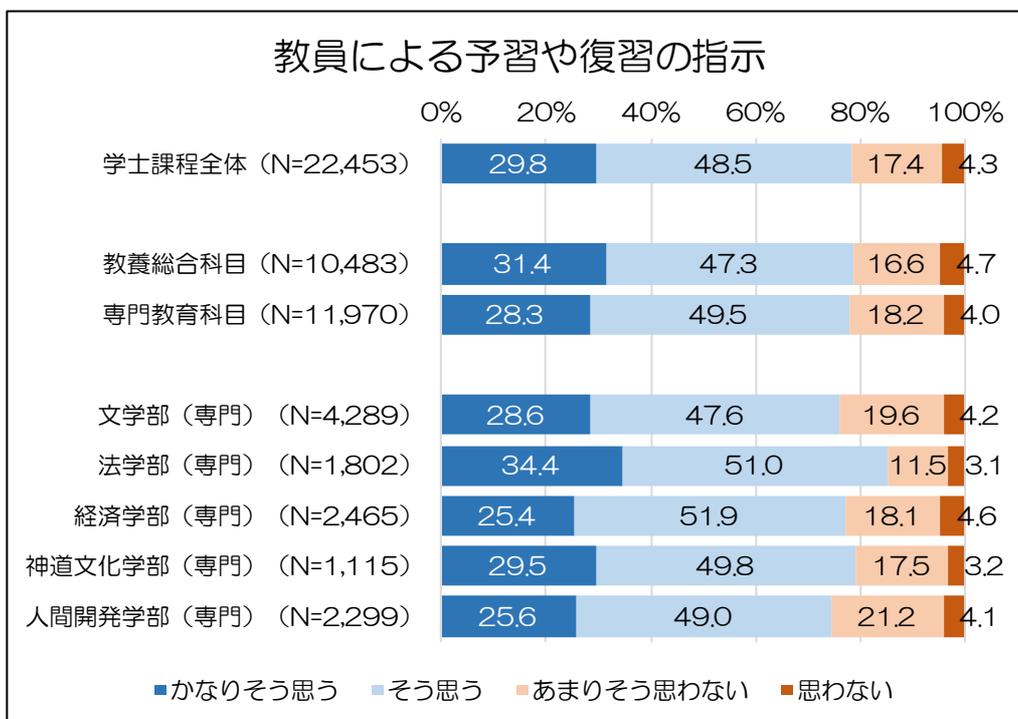
Q4 あなたはシラバスを読んだ上で授業に臨みましたか。



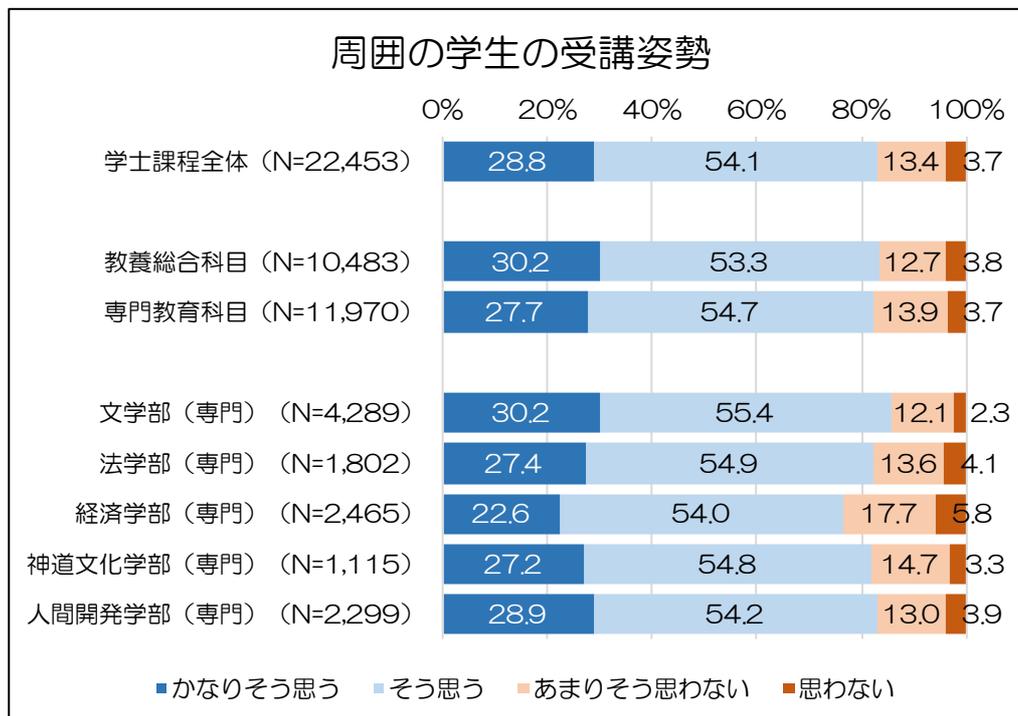
Q5 教員はシラバスに基づいて、授業を進めていましたか。



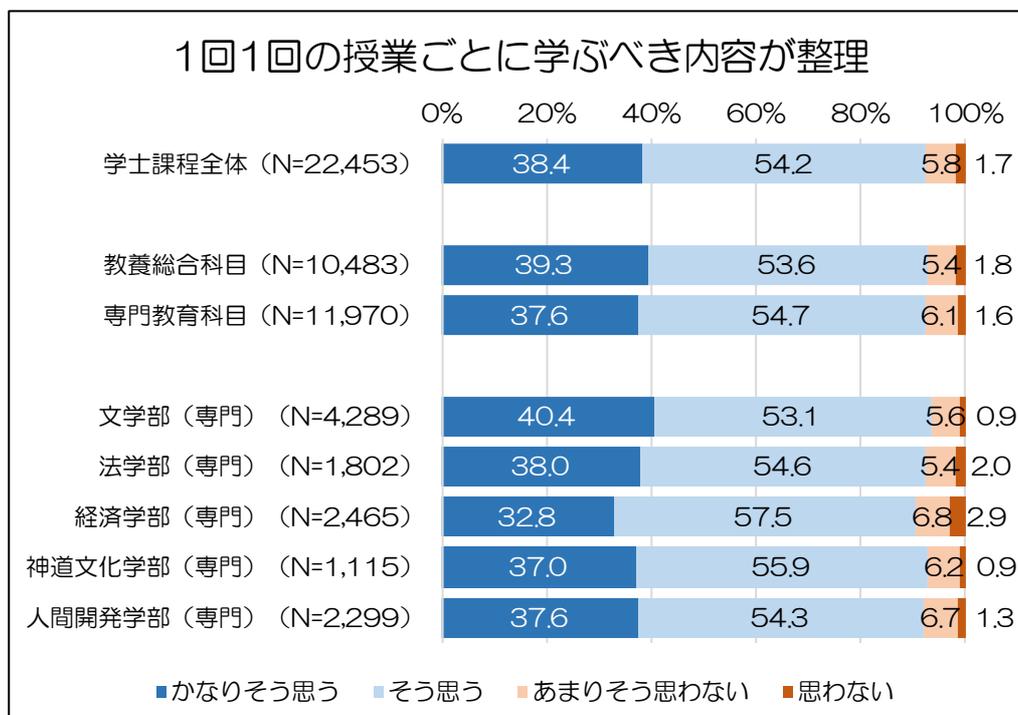
Q6 教員は予習・復習に関する指示を出していましたか。



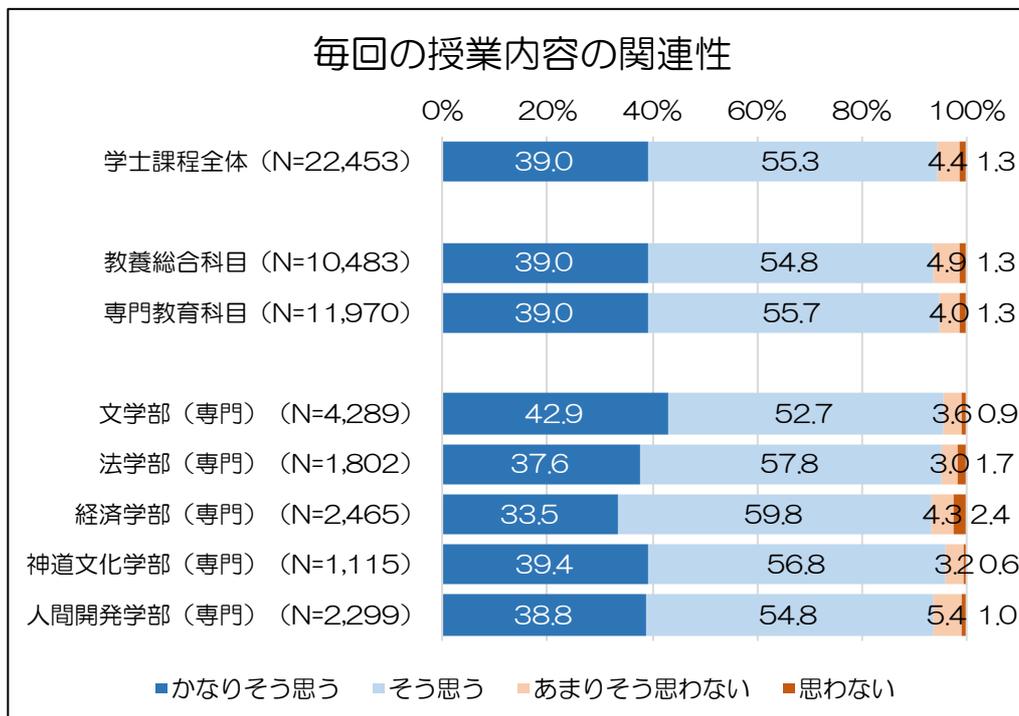
Q7 あなたから見て、他の履修学生はこの授業に真剣に取り組んでいましたか。



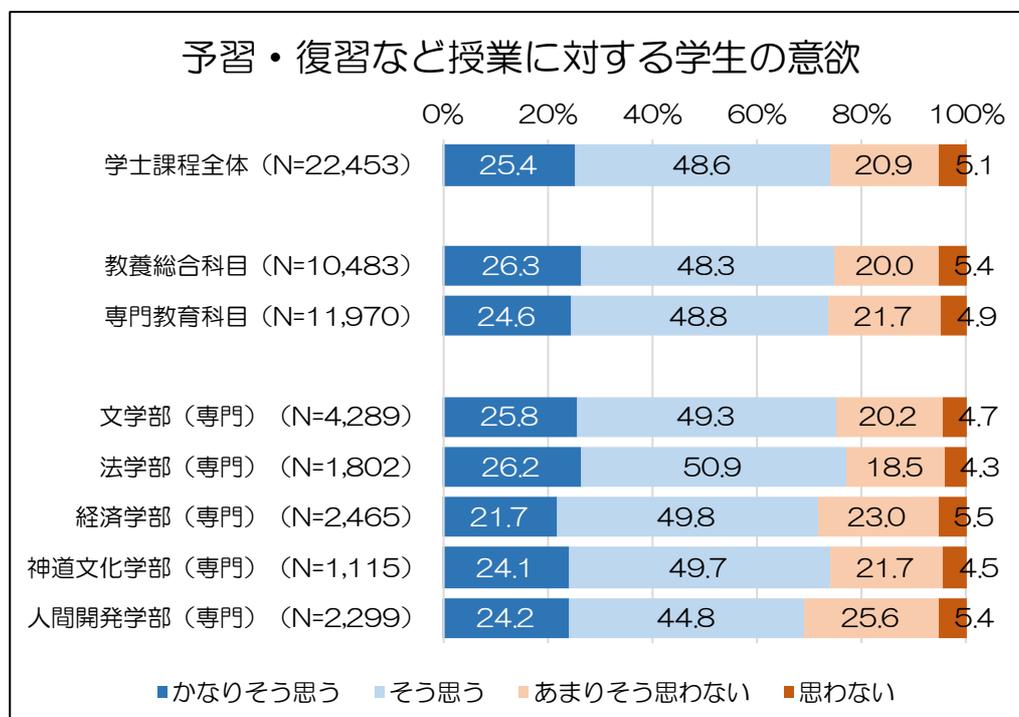
Q8 1回1回の授業ごとに学ぶべき内容(単元)が整理されていましたか。



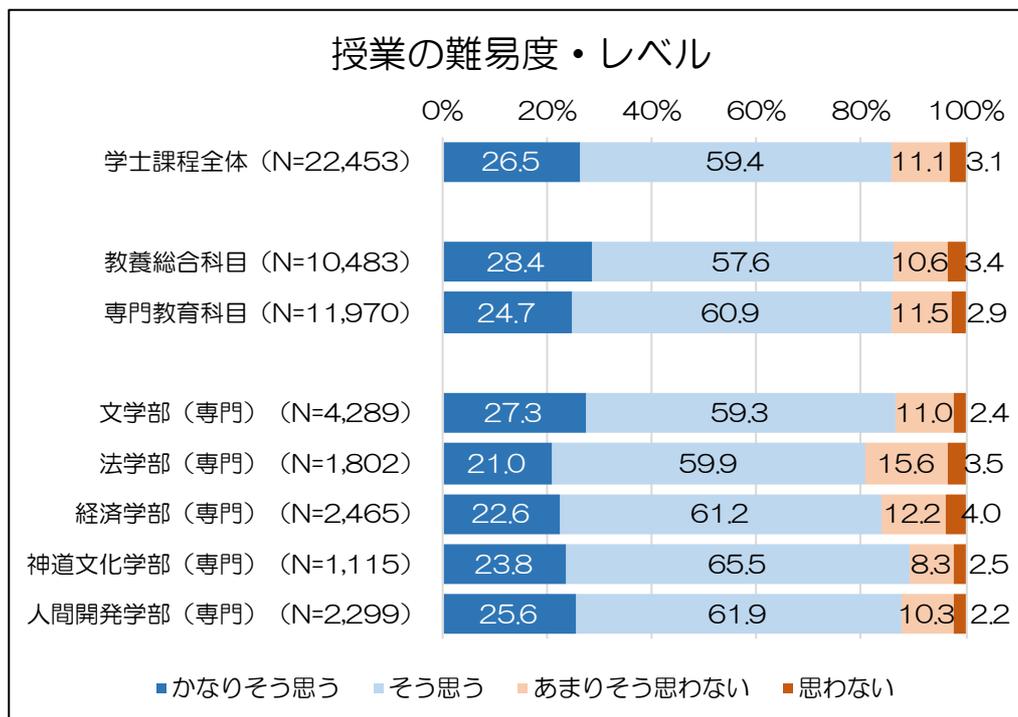
Q9 毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていましたか。



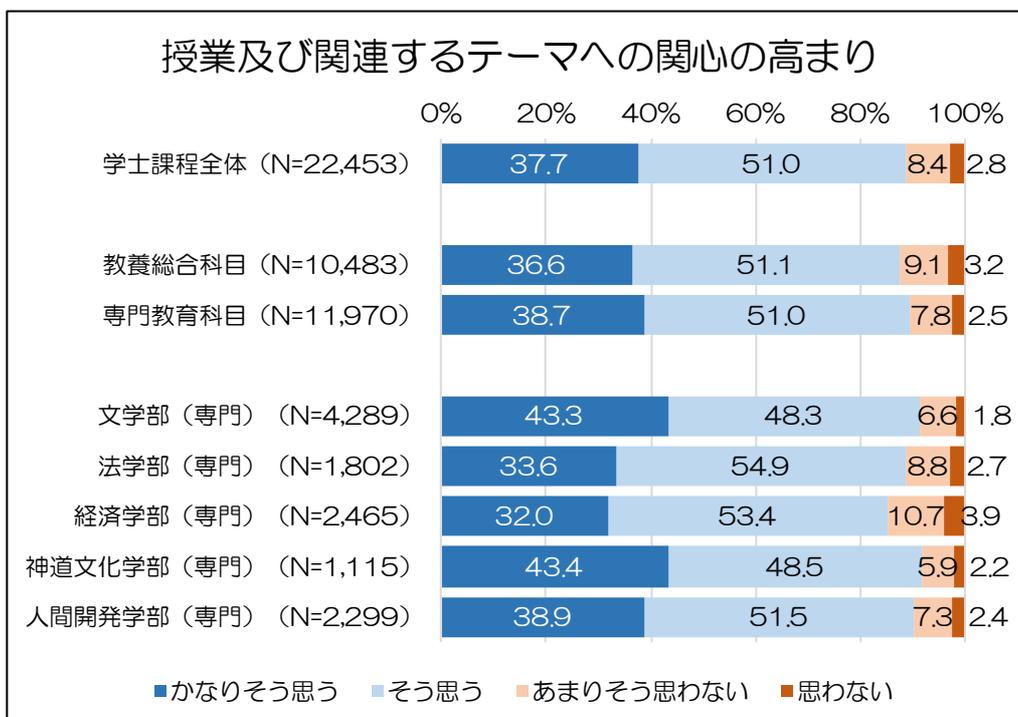
Q10 あなたは予習・復習をするなどこの授業に意欲的に取り組みましたか。



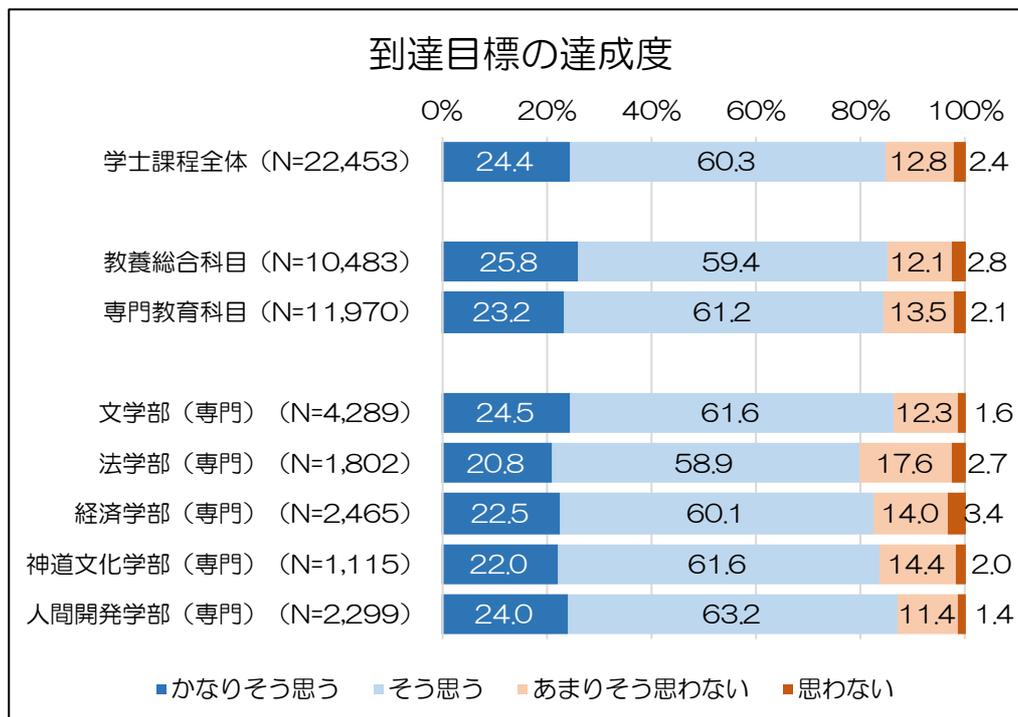
Q11 あなたにとってこの授業の難易度・レベルは適切でしたか。



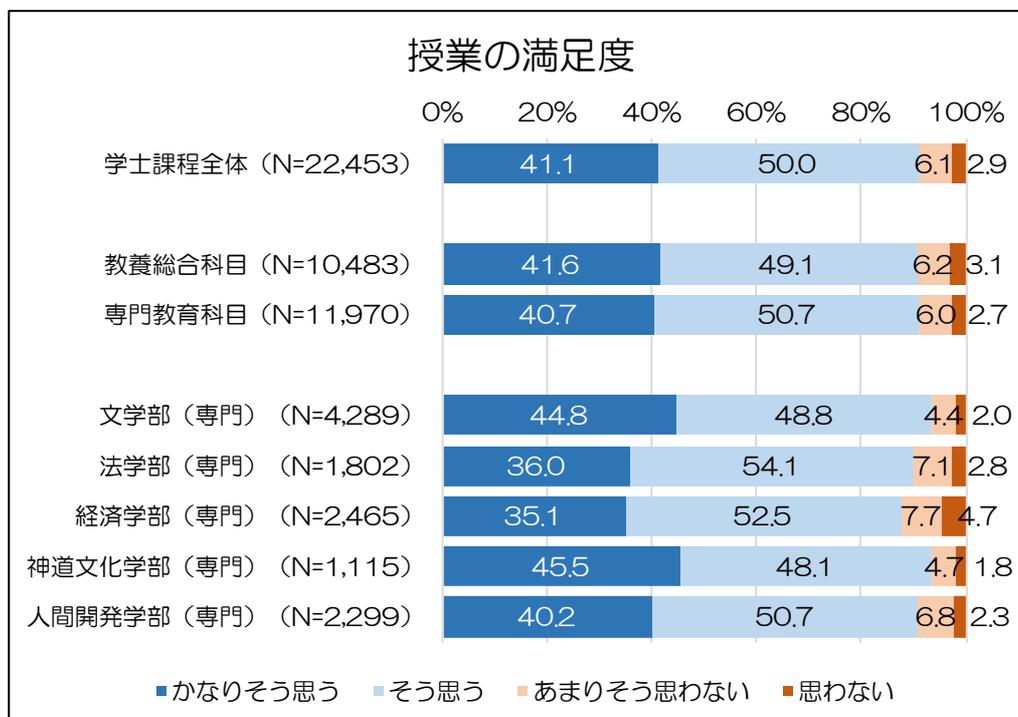
Q12 この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか。



Q13 あなたはこの授業の到達目標を達成できたと思いますか。



Q14 あなたはこの授業を履修して良かったですか。



集計結果の総評

- 本学の授業評価アンケートは、全部で17の設問から成り立っています。
- 設問の構成は、Q1～Q3とQ5～Q6、Q8が、教員を対象に授業運営の観点から、それ以外の設問が学生を対象に授業を受講しての意識という観点から成り立っています。
- それぞれの設問について、授業科目の区分にしたがい、3つの区分で回答を集計しました。集計区分は、(1) 学士課程全体(全回答)、(2) 教養総合科目と専門教育科目、(3) 学部別(専門教育科目)です。それでは順に各設問の結果をみてみましょう。
- Q1は、「教員の説明や指示は明確で聞き取りやすかったですか」です。肯定回答(「かなりそう思う」と「そう思う」の合計)は、どの集計区分でも80%を超え、90%を超えている集計区分も見られました。
- Q2は、「教員は授業中、学生に対して積極的な発言や参加を促していましたか」です。肯定回答は学士課程全体で79.3%でした。学部別(専門教育科目)で見ると、経済学部(専門)の71.1%から、人間開発学部(専門)の80.0%と、最大で分布に約10%の差が確認できました。
- Q3は、「教員の板書や教材(配布資料や映像・情報機器等)の利用は、授業内容の理解に役立ちましたか」です。肯定回答はどの集計区分でも90%前後となっており、極めて肯定回答の割合が高いことが確認できました。
- Q4は、「あなたはシラバスを読んだ上で授業に臨みましたか」です。肯定回答は学士課程全体で82.6%でした。学部別(専門教育科目)で見ると、人間開発学部(専門)の67.7%から、法学部(専門)の89.1%と、最大で分布に約21.4%の差が確認できました。
- Q5は、「教員はシラバスに基づいて、授業を進めていましたか」です。肯定回答はどの集計区分でも、90%前後となっていました。ただし経済学部(専門)と人間開発学部(専門)とでは、「かなりそう思う」が30%を下回りました。

- Q6 は、「教員は予習・復習に関する指示を出していましたか」です。これは法学部（専門）を除き、肯定回答の割合が 80%を下回る結果となりました。ほとんどの集計区分で、「かなりそう思う」の割合が 30%を下回りました。
- Q7 は、「あなたから見て、他の履修学生はこの授業に真剣に取り組んでいましたか」です。肯定回答は経済学部（専門）を除けば、概ねどの集計区分でも 80%を超えていました。
- Q8 は、「1 回 1 回の授業ごとに学ぶべき内容（単元）が整理されてい了吗」です。すべての集計区分で肯定回答が 90%を超えていました。本学の授業は学生の視点でも、毎回の授業で学ぶべき内容が、整理されていると考えることができるようです。
- Q9 は、「毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていましたか」です。これも Q8 と同様に、すべての集計区分で肯定回答が 90%を超える結果となりました。
- Q10 は、「あなたは予習・復習をするなどこの授業に意欲的に取り組みましたか」です。これは先の Q8 や Q9 と異なり、すべての集計区分で肯定回答が 80%に満たない結果となりました。学部別（専門教育科目）で見ると、75%未滿となっている学部が、経済学部（専門）で 71.5%、神道文化学部（専門）で 73.8%、人間開発学部（専門）で 69.0%と、複数の学部で確認されました。
- Q11 は、「あなたにとってこの授業の難易度・レベルは適切でしたか」です。どの集計区分でも 80%を超えており、全体的な傾向として、適切な授業難易度・レベルであるとみることができそうです。
- Q12 は、「この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか」です。これもほとんどの集計区分で 90%前後となっており、肯定的な解釈が可能な傾向にあります。

- Q13は、「あなたはこの授業の到達目標を達成できたと思いますか」です。ほぼすべての集計区分で肯定回答は80%を超える結果となりました。ただし肯定回答のうち、「かなりそう思う」と回答した学生が30%未満であること、また「あまりそう思わない」と答えた学生が12.1%~17.6%存在していたことから、到達目標の達成度に関しては、詳細な検討が必要であるようです。もちろん設問の性質上、回答した学生が他の設問と比べて、控えめに回答したとも考えられます。
- Q14は、「あなたはこの授業を履修して良かったですか」です。ほとんどの集計区分で、肯定回答が90%前後となりました。また肯定回答を詳細に見ても、「かなりそう思う」と答えた学生が他の設問と比べて、相対的に多くを占めていた傾向が確認できました。

- 以上、各設問について集計結果から明らかになったことを簡潔に整理しました。集計結果によれば、本学の授業は概ね望ましい傾向にあるようです。
- ただし設問のうち肯定回答が80%を下回った設問が、複数確認されたのも事実です。具体的にはQ2「教員は授業中、学生に対して積極的な発言や参加を促していましたか」や、Q6「教員は予習・復習に関する指示を出していましたか」、さらにはQ10「あなたは予習・復習をするなどこの授業に意欲的に取り組みましたか」などです。これらについては、他の設問との関係から、検討する必要がありそうです。本報告書では、「3. 考察」で検討を行いましたので、ご覧ください。

2-2 専任及び兼任教員の到達目標の達成度・満足度順位（ベスト30）

【算出方法】

1) 教員が担当した授業科目のアンケート結果を1つに集計。

例

教員名	授業科目名	回答数
國學 太郎	國學院の歴史	21
國學 太郎	神道精神	11
國學 太郎	日本の伝統	38
こくびょん	文学概論	14
こくびょん	日本文学入門	6



教員名	回答数
國學 太郎	70
こくびょん	20

2) 上記の集計をした後、合計回答数が50人以上の教員を対象とする。

例

教員名	回答数	
國學 太郎	70	← 対象
こくびょん	20	← 対象外

3) 到達目標の達成度はQ13、満足度はQ14の回答結果から、点数化。

例

國學太郎先生の場合（到達目標の達成度・満足度ともに同様の計算式とする）

教員氏名：國學 太郎	回答数	配点	回答数×配点＝点数
かなりそう思う	15件	4点	60点
そう思う	30件	3点	90点
あまりそう思わない	22件	2点	44点
そう思わない	3件	1点	3点
合計	70件		197点

到達目標の達成度または満足度点数 $197 \div 70 = \underline{2.814}$ 点

4) 上記の到達目標の達成度または満足度点数の高い順に、ベスト30教員を選出

到達目標の達成度ベスト 30（専任教員）

順位	教員氏名	回答件数	回答率	得点	かなりそう思う	そう思う	あまりそう思わない	思わない
1	中川 孝博	110	50.9%	3,455	50.9%	44.5%	3.6%	0.9%
2	杉田 洋	185	73.1%	3,422	44.9%	52.4%	2.7%	0.0%
3	吉永 安里	78	38.8%	3,385	41.0%	56.4%	2.6%	0.0%
4	田嶋 一	194	72.4%	3,366	40.2%	56.2%	3.6%	0.0%
5	針谷 壮一	56	28.3%	3,357	39.3%	57.1%	3.6%	0.0%
6	高橋 昌一郎	489	41.9%	3,348	39.9%	55.8%	3.5%	0.8%
7	鈴木 道代	61	45.5%	3,344	41.0%	55.7%	0.0%	3.3%
8	備前 嘉文	127	71.8%	3,323	39.4%	54.3%	5.5%	0.8%
9	飯倉 義之	89	28.0%	3,303	36.0%	59.6%	3.4%	1.1%
10	理科実験担当教員	54	37.0%	3,278	31.5%	64.8%	3.7%	0.0%
11	高山 実佐	116	61.1%	3,276	31.9%	63.8%	4.3%	0.0%
12	高山 真琴	102	75.0%	3,255	32.4%	61.8%	4.9%	1.0%
13	宮下 雄治	126	47.9%	3,254	31.0%	64.3%	4.0%	0.8%
14	加藤 季夫	79	11.9%	3,241	26.6%	70.9%	2.5%	0.0%
15	大津 直子	88	68.2%	3,216	33.0%	55.7%	11.4%	0.0%
16	藤本 頼生	59	20.1%	3,203	28.8%	62.7%	8.5%	0.0%
17	中村 正明	163	72.8%	3,196	26.4%	67.5%	5.5%	0.6%
18	渡邊 雅俊	51	9.2%	3,196	23.5%	72.5%	3.9%	0.0%
19	藤澤 紫	84	16.3%	3,190	27.4%	65.5%	6.0%	1.2%
20	野呂 健	60	44.1%	3,183	25.0%	68.3%	6.7%	0.0%
21	高橋 大助	55	29.1%	3,182	25.5%	67.3%	7.3%	0.0%
22	森川 隆	69	13.9%	3,116	26.1%	60.9%	11.6%	1.4%
23	苅田 真司	53	28.0%	3,113	18.9%	73.6%	7.5%	0.0%
24	川田 裕樹	82	25.0%	3,110	29.3%	54.9%	13.4%	2.4%
25	石井 研士	55	14.8%	3,109	20.0%	72.7%	5.5%	1.8%
26	安野 功	59	12.8%	3,102	28.8%	57.6%	8.5%	5.1%
27	青木 豊	91	47.4%	3,099	15.4%	79.1%	5.5%	0.0%
28	高野 裕基	57	42.9%	3,088	21.1%	66.7%	12.3%	0.0%
29	谷口 雅博	60	61.9%	3,083	23.3%	63.3%	11.7%	1.7%
30	田沼 茂紀	103	34.7%	3,078	17.5%	73.8%	7.8%	1.0%

到達目標の達成度ベスト 30（兼任教員）

順位	教員氏名	回答件数	回答率	得点	かなりそう思う	そう思う	あまりそう思わない	思わない
1	吉住 香織	58	70.7%	3,552	56.9%	41.4%	1.7%	0.0%
2	流郷 吐夢	54	80.6%	3,519	55.6%	40.7%	3.7%	0.0%
3	ルブレクト、B. G.	65	74.7%	3,508	55.4%	40.0%	4.6%	0.0%
4	マシュー フレイザー	60	19.3%	3,467	56.7%	36.7%	3.3%	3.3%
5	吉田 泰将	60	75.0%	3,433	46.7%	50.0%	3.3%	0.0%
6	野村 ひかり	55	83.3%	3,400	43.6%	52.7%	3.6%	0.0%
7	トーマス・エルグッド	239	76.1%	3,339	42.7%	49.4%	7.1%	0.8%
8	三ツ矢 真紀	148	82.7%	3,331	38.5%	56.1%	5.4%	0.0%
9	岩崎 博	58	78.4%	3,328	41.4%	50.0%	8.6%	0.0%
10	春日 美穂	58	31.2%	3,310	36.2%	60.3%	1.7%	1.7%
11	田邊 一馬	71	71.0%	3,310	38.0%	57.7%	1.4%	2.8%
12	田中 章義	66	66.0%	3,258	28.8%	68.2%	3.0%	0.0%
13	田窪 大介	156	22.1%	3,244	28.8%	67.3%	3.2%	0.6%
14	横山 直也	51	82.3%	3,235	25.5%	72.5%	2.0%	0.0%
15	奥田 麻衣	57	22.5%	3,228	35.1%	54.4%	8.8%	1.8%
16	田村 昌大	55	87.3%	3,218	29.1%	63.6%	7.3%	0.0%
17	原 功	63	79.7%	3,206	28.6%	63.5%	7.9%	0.0%
18	手島 純	64	62.1%	3,203	26.6%	67.2%	6.3%	0.0%
19	志賀 廣夫	55	59.1%	3,200	27.3%	65.5%	7.3%	0.0%
20	町田 なほみ	51	81.0%	3,176	31.4%	58.8%	5.9%	3.9%
21	宮西 修治	53	73.6%	3,170	30.2%	58.5%	9.4%	1.9%
22	波多野 真矢	65	46.8%	3,154	29.2%	58.5%	10.8%	1.5%
23	ケヴィン・コグラン	132	38.7%	3,144	26.5%	62.9%	9.1%	1.5%
24	佐々木 雄一	54	21.5%	3,130	27.8%	57.4%	14.8%	0.0%
25	長嶺 宏作	54	70.1%	3,111	27.8%	55.6%	16.7%	0.0%
26	大前 義幸	59	74.7%	3,102	22.0%	66.1%	11.9%	0.0%
27	樋口 政則	50	41.0%	3,100	22.0%	68.0%	8.0%	2.0%
28	福井 一喜	92	36.8%	3,098	21.7%	66.3%	12.0%	0.0%
29	志村 広子	72	72.0%	3,083	15.3%	77.8%	6.9%	0.0%
30	辻本 拓司	99	9.3%	3,071	23.2%	61.6%	14.1%	1.0%

到達目標の達成度ベスト 30（総合：専任教員及び兼任教員）

順位	教員氏名	回答件数	回答率	得点	かなりそう思う	そう思う	あまりそう思わない	思わない
1	吉住 香織	58	70.7%	3,552	56.9%	41.4%	1.7%	0.0%
2	流郷 吐夢	54	80.6%	3,519	55.6%	40.7%	3.7%	0.0%
3	ルブレクト、B. G.	65	74.7%	3,508	55.4%	40.0%	4.6%	0.0%
4	マシュー フレイザー	60	19.3%	3,467	56.7%	36.7%	3.3%	3.3%
5	中川 孝博	110	50.9%	3,455	50.9%	44.5%	3.6%	0.9%
6	吉田 泰将	60	75.0%	3,433	46.7%	50.0%	3.3%	0.0%
7	杉田 洋	185	73.1%	3,422	44.9%	52.4%	2.7%	0.0%
8	野村 ひかり	55	83.3%	3,400	43.6%	52.7%	3.6%	0.0%
9	吉永 安里	78	38.8%	3,385	41.0%	56.4%	2.6%	0.0%
10	田嶋 一	194	72.4%	3,366	40.2%	56.2%	3.6%	0.0%
11	針谷 壮一	56	28.3%	3,357	39.3%	57.1%	3.6%	0.0%
12	高橋 昌一郎	489	41.9%	3,348	39.9%	55.8%	3.5%	0.8%
13	鈴木 道代	61	45.5%	3,344	41.0%	55.7%	0.0%	3.3%
14	トーマス・エルグッド	239	76.1%	3,339	42.7%	49.4%	7.1%	0.8%
15	三ツ矢 真紀	148	82.7%	3,331	38.5%	56.1%	5.4%	0.0%
16	岩崎 博	58	78.4%	3,328	41.4%	50.0%	8.6%	0.0%
17	備前 嘉文	127	71.8%	3,323	39.4%	54.3%	5.5%	0.8%
18	春日 美穂	58	31.2%	3,310	36.2%	60.3%	1.7%	1.7%
19	田邊 一馬	71	71.0%	3,310	38.0%	57.7%	1.4%	2.8%
20	飯倉 義之	89	28.0%	3,303	36.0%	59.6%	3.4%	1.1%
21	理科実験担当教員	54	37.0%	3,278	31.5%	64.8%	3.7%	0.0%
22	高山 実佐	116	61.1%	3,276	31.9%	63.8%	4.3%	0.0%
23	田中 章義	66	66.0%	3,258	28.8%	68.2%	3.0%	0.0%
24	高山 真琴	102	75.0%	3,255	32.4%	61.8%	4.9%	1.0%
25	宮下 雄治	126	47.9%	3,254	31.0%	64.3%	4.0%	0.8%
26	田窪 大介	156	22.1%	3,244	28.8%	67.3%	3.2%	0.6%
27	加藤 季夫	79	11.9%	3,241	26.6%	70.9%	2.5%	0.0%
28	横山 直也	51	82.3%	3,235	25.5%	72.5%	2.0%	0.0%
29	奥田 麻衣	57	22.5%	3,228	35.1%	54.4%	8.8%	1.8%
30	田村 昌大	55	87.3%	3,218	29.1%	63.6%	7.3%	0.0%

注 塗りつぶしは兼任教員

満足度ベスト 30（専任教員）

順位	教員氏名	回答件数	回答率	得点	かなりそう思う	そう思う	あまりそう思わない	思わない
1	吉永 安里	78	38.8%	3.756	75.6%	24.4%	0.0%	0.0%
2	中川 孝博	110	50.9%	3.745	76.4%	22.7%	0.0%	0.9%
3	飯倉 義之	89	28.0%	3.708	73.0%	25.8%	0.0%	1.1%
4	高山 実佐	116	61.1%	3.698	70.7%	28.4%	0.9%	0.0%
5	杉田 洋	185	73.1%	3.692	71.9%	25.9%	1.6%	0.5%
6	針谷 壮一	56	28.3%	3.679	67.9%	32.1%	0.0%	0.0%
7	田嶋 一	194	72.4%	3.675	70.1%	27.3%	2.6%	0.0%
8	石井 研士	55	14.8%	3.618	65.5%	32.7%	0.0%	1.8%
9	鈴木 道代	61	45.5%	3.607	65.6%	31.1%	1.6%	1.6%
10	高橋 昌一郎	489	41.9%	3.593	61.6%	37.0%	0.6%	0.8%
11	高山 真琴	102	75.0%	3.588	60.8%	37.3%	2.0%	0.0%
12	大津 直子	88	68.2%	3.568	58.0%	40.9%	1.1%	0.0%
13	備前 嘉文	127	71.8%	3.520	56.7%	38.6%	4.7%	0.0%
14	野呂 健	60	44.1%	3.517	51.7%	48.3%	0.0%	0.0%
15	井上 明芳	102	71.8%	3.510	57.8%	36.3%	4.9%	1.0%
16	金杉 武司	109	66.1%	3.505	52.3%	45.9%	1.8%	0.0%
17	森川 隆	69	13.9%	3.493	53.6%	43.5%	1.4%	1.4%
18	宮下 雄治	126	47.9%	3.476	55.6%	39.7%	1.6%	3.2%
19	渡邊 雅俊	51	9.2%	3.451	45.1%	54.9%	0.0%	0.0%
20	理科実験担当教員	54	37.0%	3.444	44.4%	55.6%	0.0%	0.0%
21	中村 正明	163	72.8%	3.442	50.3%	44.8%	3.7%	1.2%
22	佐藤 長門	59	28.1%	3.441	45.8%	52.5%	1.7%	0.0%
23	加藤 季夫	79	11.9%	3.430	44.3%	54.4%	1.3%	0.0%
24	小林 宣彦	69	11.0%	3.420	50.7%	43.5%	2.9%	2.9%
25	藤澤 紫	84	16.3%	3.417	46.4%	50.0%	2.4%	1.2%
26	柴田 紳一	53	9.6%	3.396	47.2%	47.2%	3.8%	1.9%
27	藤本 頼生	59	20.1%	3.390	44.1%	50.8%	5.1%	0.0%
28	苅田 真司	53	28.0%	3.377	39.6%	58.5%	1.9%	0.0%
29	高橋 大助	55	29.1%	3.364	40.0%	56.4%	3.6%	0.0%
30	結城 孝治	189	67.3%	3.360	41.3%	55.6%	1.1%	2.1%

満足度ベスト 30（兼任教員）

順位	教員氏名	回答件数	回答率	得点	かなりそう思う	そう思う	あまりそう思わない	思わない
1	吉住 香織	58	70.7%	3.862	86.2%	13.8%	0.0%	0.0%
2	野村 ひかり	55	83.3%	3.782	78.2%	21.8%	0.0%	0.0%
3	ルブレクト、B. G.	65	74.7%	3.723	72.3%	27.7%	0.0%	0.0%
4	岩崎 博	58	78.4%	3.690	69.0%	31.0%	0.0%	0.0%
5	マシュー フレイザー	60	19.3%	3.683	73.3%	23.3%	1.7%	1.7%
6	田邊 一馬	71	71.0%	3.634	66.2%	32.4%	0.0%	1.4%
7	流郷 吐夢	54	80.6%	3.593	64.8%	31.5%	1.9%	1.9%
8	春日 美穂	58	31.2%	3.569	62.1%	34.5%	1.7%	1.7%
9	宮西 修治	53	73.6%	3.566	56.6%	43.4%	0.0%	0.0%
10	三ツ矢 真紀	148	82.7%	3.554	57.4%	40.5%	2.0%	0.0%
11	吉田 泰将	60	75.0%	3.533	55.0%	43.3%	1.7%	0.0%
12	田中 章義	66	66.0%	3.530	59.1%	36.4%	3.0%	1.5%
13	手島 純	64	62.1%	3.500	53.1%	43.8%	3.1%	0.0%
14	波多野 真矢	65	46.8%	3.462	50.8%	46.2%	1.5%	1.5%
15	トーマス・エルグッド	239	76.1%	3.427	48.1%	47.7%	2.9%	1.3%
16	志賀 廣夫	55	59.1%	3.418	47.3%	47.3%	5.5%	0.0%
17	原 功	63	79.7%	3.397	47.6%	46.0%	4.8%	1.6%
18	佐々木 雄一	54	21.5%	3.389	38.9%	61.1%	0.0%	0.0%
19	西田 洋平	73	80.2%	3.370	37.0%	63.0%	0.0%	0.0%
20	栗田 尚弥	79	51.0%	3.367	49.4%	40.5%	7.6%	2.5%
21	田窪 大介	156	22.1%	3.365	41.7%	54.5%	2.6%	1.3%
22	大前 義幸	59	74.7%	3.356	39.0%	57.6%	3.4%	0.0%
23	辻本 拓司	99	9.3%	3.354	40.4%	54.5%	5.1%	0.0%
24	長嶺 宏作	54	70.1%	3.352	37.0%	61.1%	1.9%	0.0%
25	大塚 秀雄	50	50.0%	3.320	36.0%	60.0%	4.0%	0.0%
26	ケヴィン・コグラン	132	38.7%	3.318	37.9%	57.6%	3.0%	1.5%
27	佐藤 憲昭	325	31.6%	3.317	37.8%	56.9%	4.3%	0.9%
28	福井 一喜	92	36.8%	3.315	38.0%	56.5%	4.3%	1.1%
29	桶田 和子	64	28.3%	3.313	31.3%	68.8%	0.0%	0.0%
30	奥田 麻衣	57	22.5%	3.298	42.1%	49.1%	5.3%	3.5%

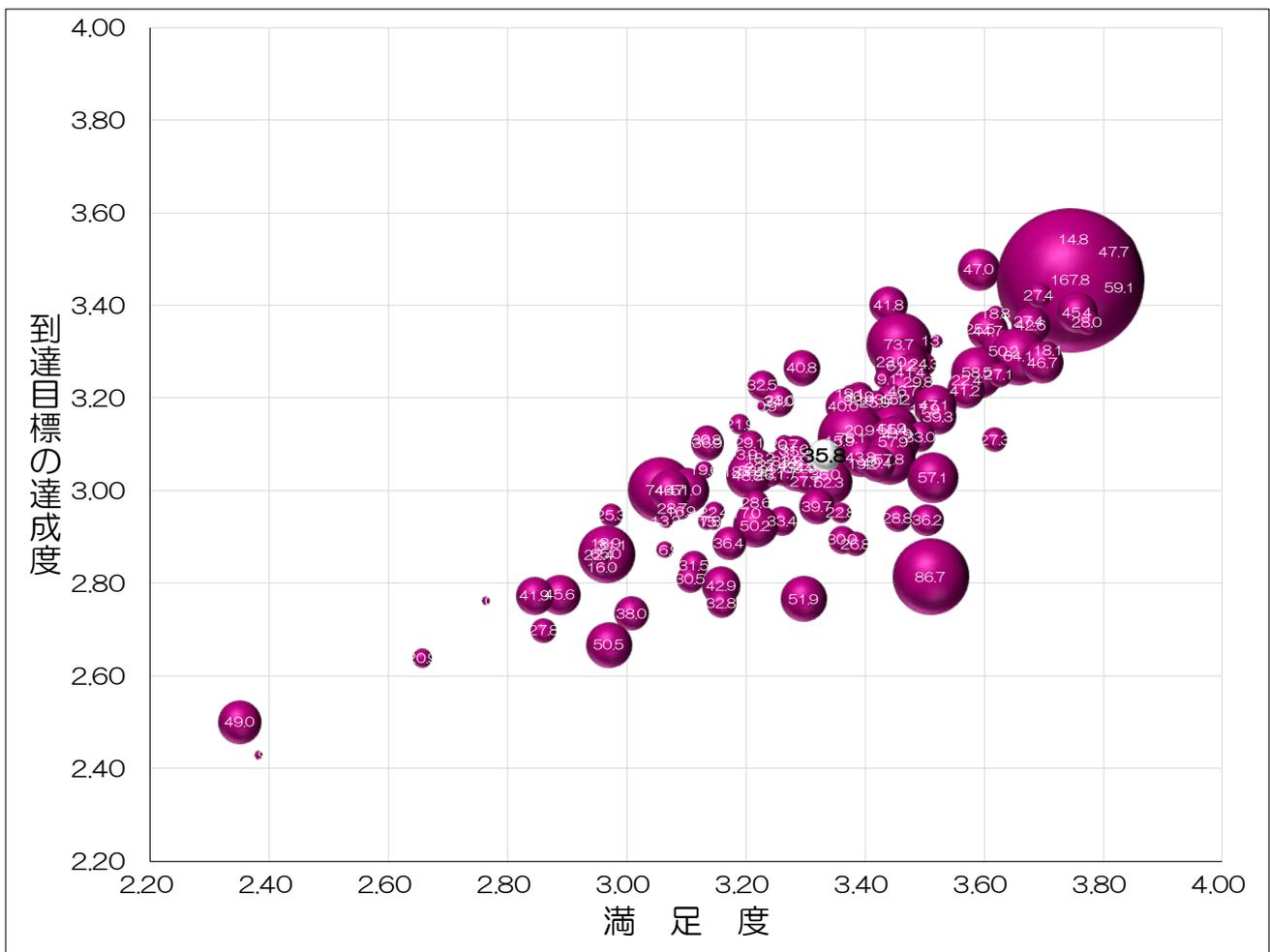
満足度ベスト 30（総合：専任教員及び兼任教員）

順位	教員氏名	回答件数	回答率	得点	かなりそう思う	そう思う	あまりそう思わない	思わない
1	吉住 香織	58	70.7%	3.862	86.2%	13.8%	0.0%	0.0%
2	野村 ひかり	55	83.3%	3.782	78.2%	21.8%	0.0%	0.0%
3	吉永 安里	78	38.8%	3.756	75.6%	24.4%	0.0%	0.0%
4	中川 孝博	110	50.9%	3.745	76.4%	22.7%	0.0%	0.9%
5	ルブレクト、B. G.	65	74.7%	3.723	72.3%	27.7%	0.0%	0.0%
6	飯倉 義之	89	28.0%	3.708	73.0%	25.8%	0.0%	1.1%
7	高山 実佐	116	61.1%	3.698	70.7%	28.4%	0.9%	0.0%
8	杉田 洋	185	73.1%	3.692	71.9%	25.9%	1.6%	0.5%
9	岩崎 博	58	78.4%	3.690	69.0%	31.0%	0.0%	0.0%
10	マシュー フレイザー	60	19.3%	3.683	73.3%	23.3%	1.7%	1.7%
11	針谷 壮一	56	28.3%	3.679	67.9%	32.1%	0.0%	0.0%
12	田嶋 一	194	72.4%	3.675	70.1%	27.3%	2.6%	0.0%
13	田邊 一馬	71	71.0%	3.634	66.2%	32.4%	0.0%	1.4%
14	石井 研士	55	14.8%	3.618	65.5%	32.7%	0.0%	1.8%
15	鈴木 道代	61	45.5%	3.607	65.6%	31.1%	1.6%	1.6%
16	高橋 昌一郎	489	41.9%	3.593	61.6%	37.0%	0.6%	0.8%
17	流郷 吐夢	54	80.6%	3.593	64.8%	31.5%	1.9%	1.9%
18	高山 真琴	102	75.0%	3.588	60.8%	37.3%	2.0%	0.0%
19	春日 美穂	58	31.2%	3.569	62.1%	34.5%	1.7%	1.7%
20	大津 直子	88	68.2%	3.568	58.0%	40.9%	1.1%	0.0%
21	宮西 修治	53	73.6%	3.566	56.6%	43.4%	0.0%	0.0%
22	三ツ矢 真紀	148	82.7%	3.554	57.4%	40.5%	2.0%	0.0%
23	吉田 泰将	60	75.0%	3.533	55.0%	43.3%	1.7%	0.0%
24	田中 章義	66	66.0%	3.530	59.1%	36.4%	3.0%	1.5%
25	備前 嘉文	127	71.8%	3.520	56.7%	38.6%	4.7%	0.0%
26	野呂 健	60	44.1%	3.517	51.7%	48.3%	0.0%	0.0%
27	井上 明芳	102	71.8%	3.510	57.8%	36.3%	4.9%	1.0%
28	金杉 武司	109	66.1%	3.505	52.3%	45.9%	1.8%	0.0%
29	手島 純	64	62.1%	3.500	53.1%	43.8%	3.1%	0.0%
30	森川 隆	69	13.9%	3.493	53.6%	43.5%	1.4%	1.4%

注 塗りつぶしは兼任教員

2-3 達成目標の到達度・満足度・授業外学修時間でみた教員の分布 専任教員の場合

- 下の図は、教員個人を単位（1つのバブル）として、縦軸にQ13「到達目標の達成度」の平均値（1.0～4.0の範囲で分布）を、横軸にQ14「満足度」の平均値（1.0～4.0の範囲で分布）をとり、さらにQ15「授業1回あたりの授業外学修時間」の平均値（実数値であり単位は分）の大きさをバブルの幅で表すことで、専任教員の相対的な位置をプロットしたものです。
- これによると専任教員は、満足度で約2.8～3.8、到達目標の達成度で約2.6～3.5の範囲で分布しているようです。
- 興味深い傾向としては、満足度3.4～3.5あたりに多くの専任教員が分布していますが、到達目標の達成度は2.8～3.4と幅広く分布していたことです。

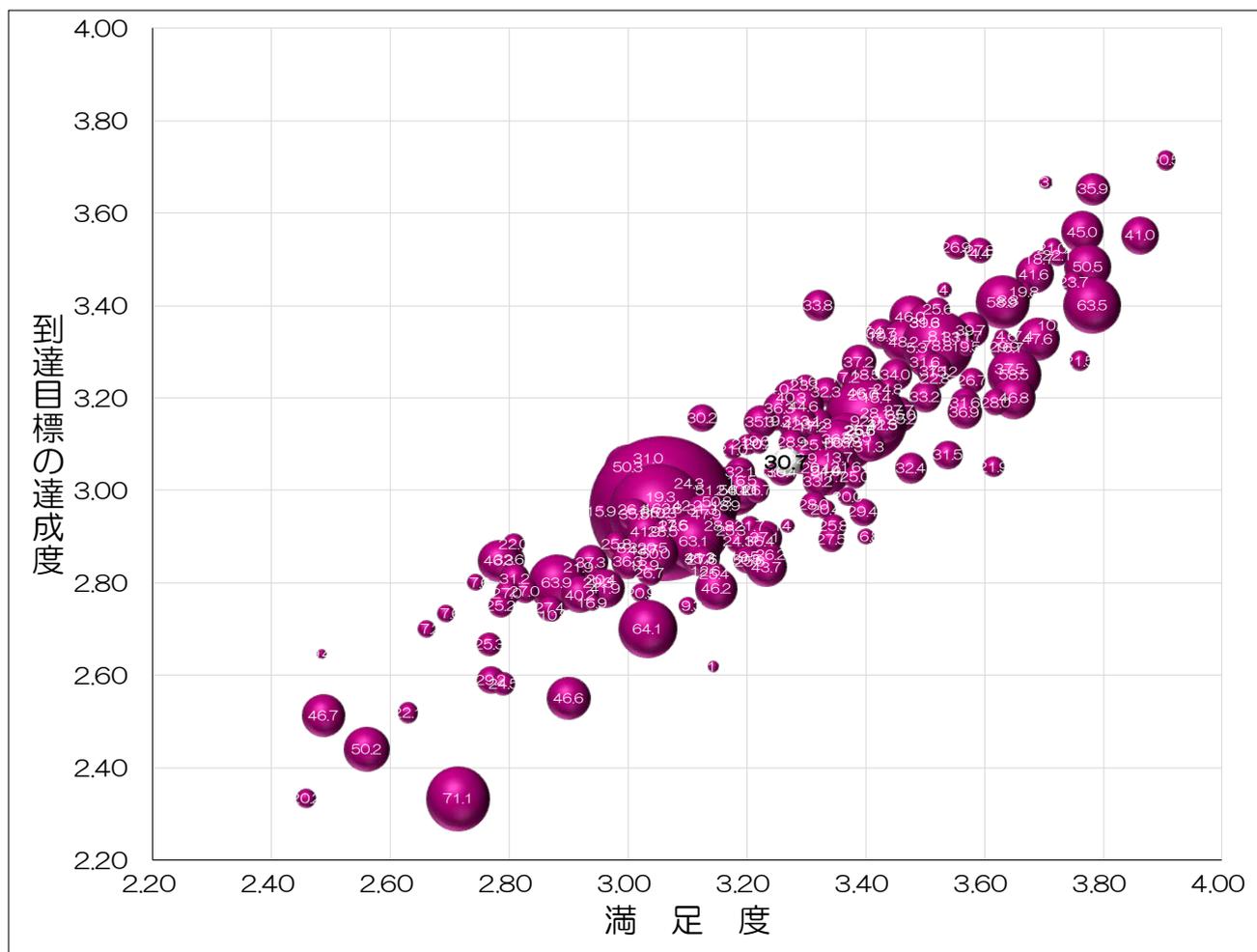


注) アンケートの回答件数の合計が 30 件以上の教員に限定して図示。なおバブル中の数字は、授業外学修時間の平均値であり、バブルの幅で表されている。なお白色のバブルは、専任教員の平均値を示す。

到達度・満足度・授業外学修時間でみた教員の分布：専任教員

兼任教員の場合

- 下の図は、前頁と同じ形式で、兼任教員を対象に図示したものです。
- これによると兼任教員の場合は満足度で約 2.4～3.9、到達目標の達成度で 2.3～3.7 と、専任教員の場合と比べて長く伸びた形で分布しています（ばらつきが多い傾向にあります）。
- 授業外学修時間（バブルの幅）も、専任教員の場合は上方に分布する教員が比較的多い（バブルの幅が大きい）傾向でしたが、兼任教員の場合は必ずしもそうではなく、下方に分布する場合でも授業外学修時間が多い傾向が確認できました。
- 授業外学修時間と満足度及び到達目標の達成度がどのように関連しているのか、専任教員とは異なる要因が考えられそうです。



注) アンケートの回答件数の合計が 30 件以上の教員に限定して図示。なおバブル中の数字は、授業外学修時間の平均値であり、バブルの幅で表されている。なお白色のバブルは、兼任教員の平均値を示す。

到達度・満足度・授業外学修時間でみた教員の分布：兼任教員

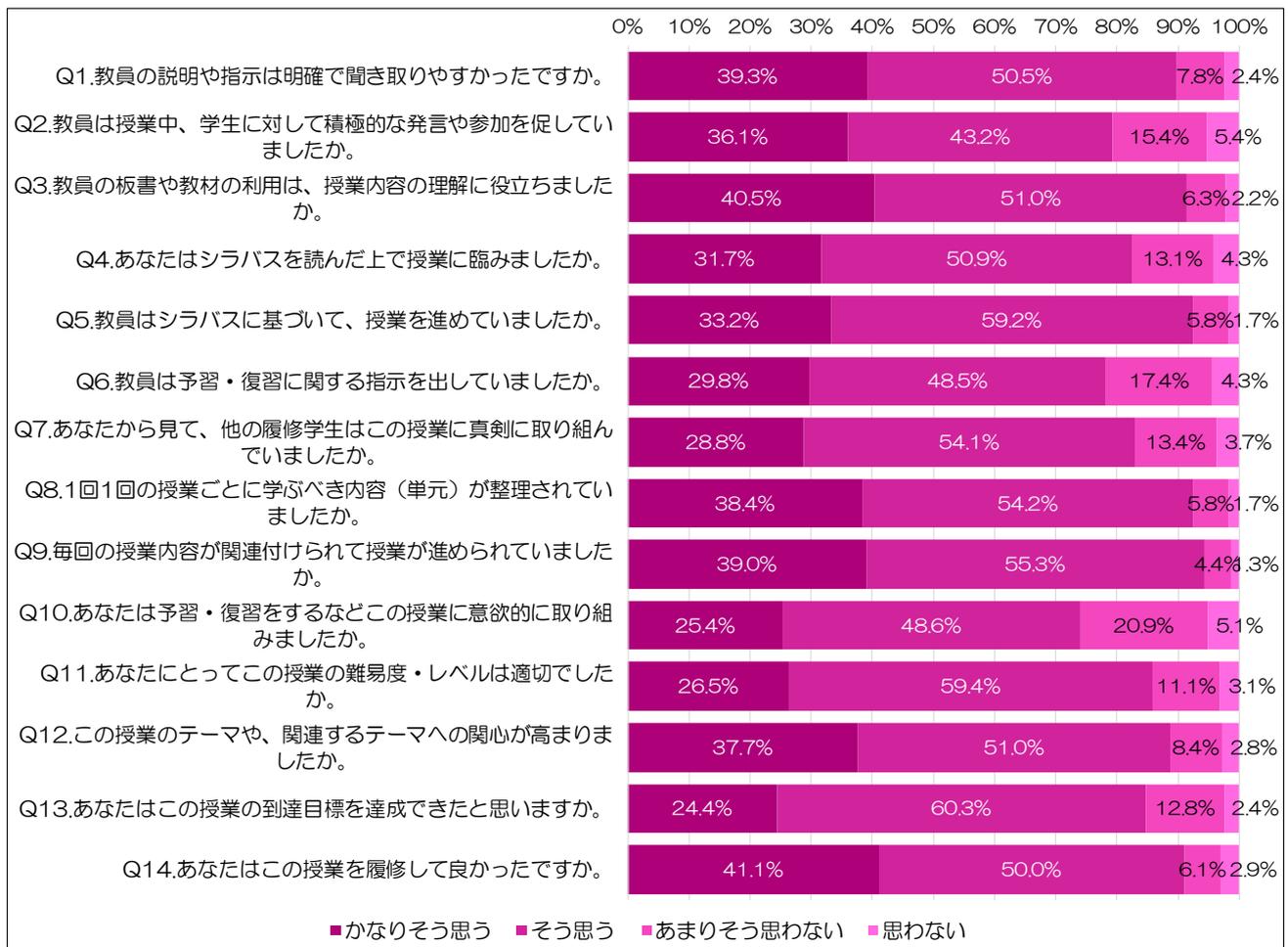
3. 考察（1）設問間のクロス表分析

* 「平成 28（2016）年度後期学生による授業評価アンケートリーフレット」より転載

3-1 全体集計

- 下の図は、授業外学修時間を尋ねた Q15 を除いた、全設問項目の集計結果です。これによるとほぼすべての項目で、「かなりそう思う」「そう思う」の肯定回答がかなりの割合を占めていることがわかります。
- ただしあえて、肯定回答が 80% を下回った設問項目に注目してみましょう。すると Q2「教員は授業中、学生に対して積極的な発言や参加を促していましたか」や、Q6「教員は予習・復習に関する指示を出していましたか」、Q10「あなたは予習・復習をするなどこの授業に意欲的に取り組みましたか」などでは、肯定回答が 80% を下回っていたことがわかります。

注 回答件数 (22,453 件)

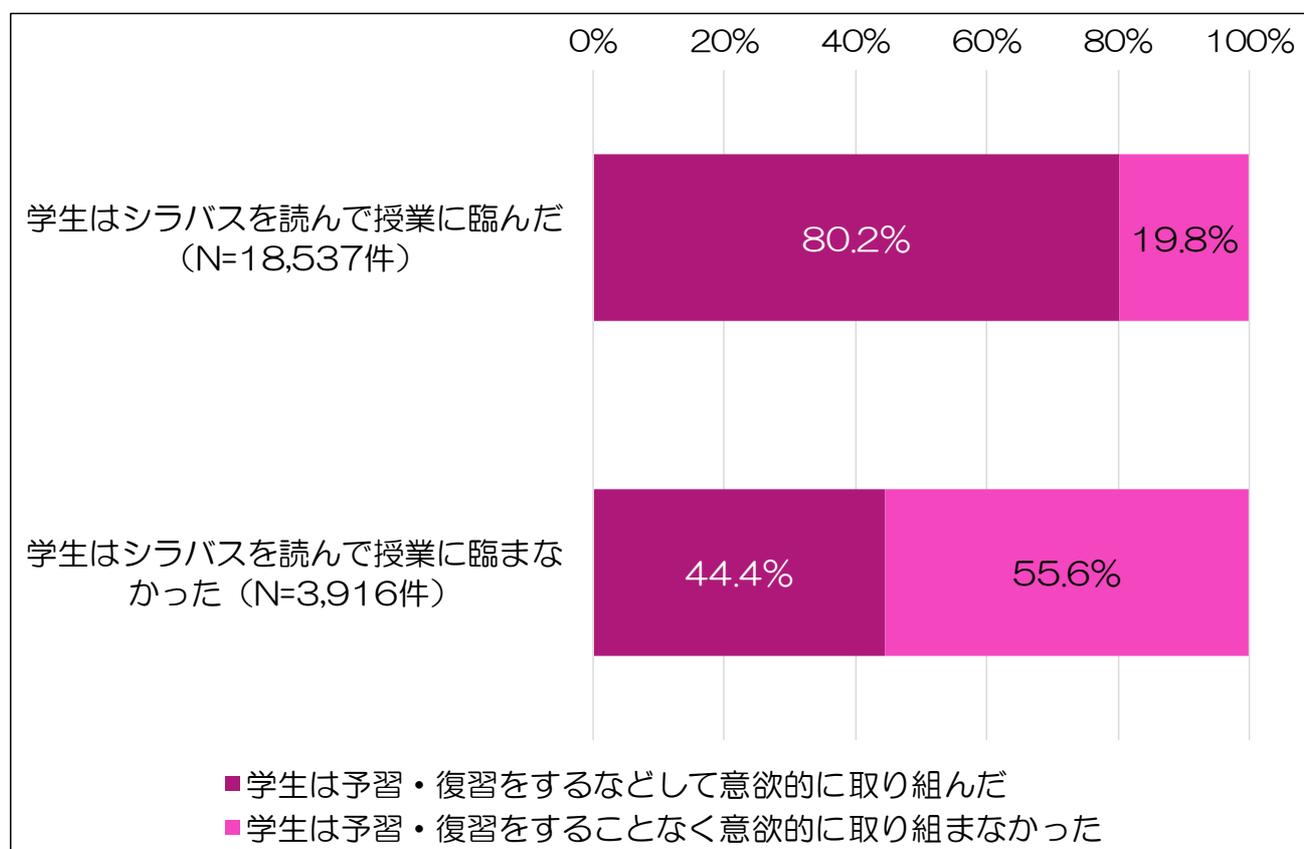


全設問項目の回答分布

3-2 シラバスの事前講読の有無と学生の授業に対するかまえ（Q4 と Q10）

- 下の図は、Q4「あなたはシラバスを読んだ上で授業に臨みましたか」と、Q10「あなたは予習・復習をするなどこの授業に意欲的に取り組みましたか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、学生がシラバスを読んで授業に臨んだ場合には、「予習・復習をするなどして意欲的に取り組んだ」と回答した学生が、80.2%となりました。
- 一方で、学生がシラバスを読んで授業に臨んでいない場合には、「予習・復習をするなどして意欲的に取り組んだ」と回答した学生が、44.4%にまで減少する結果となりました。

注 回答件数（22,453 件）

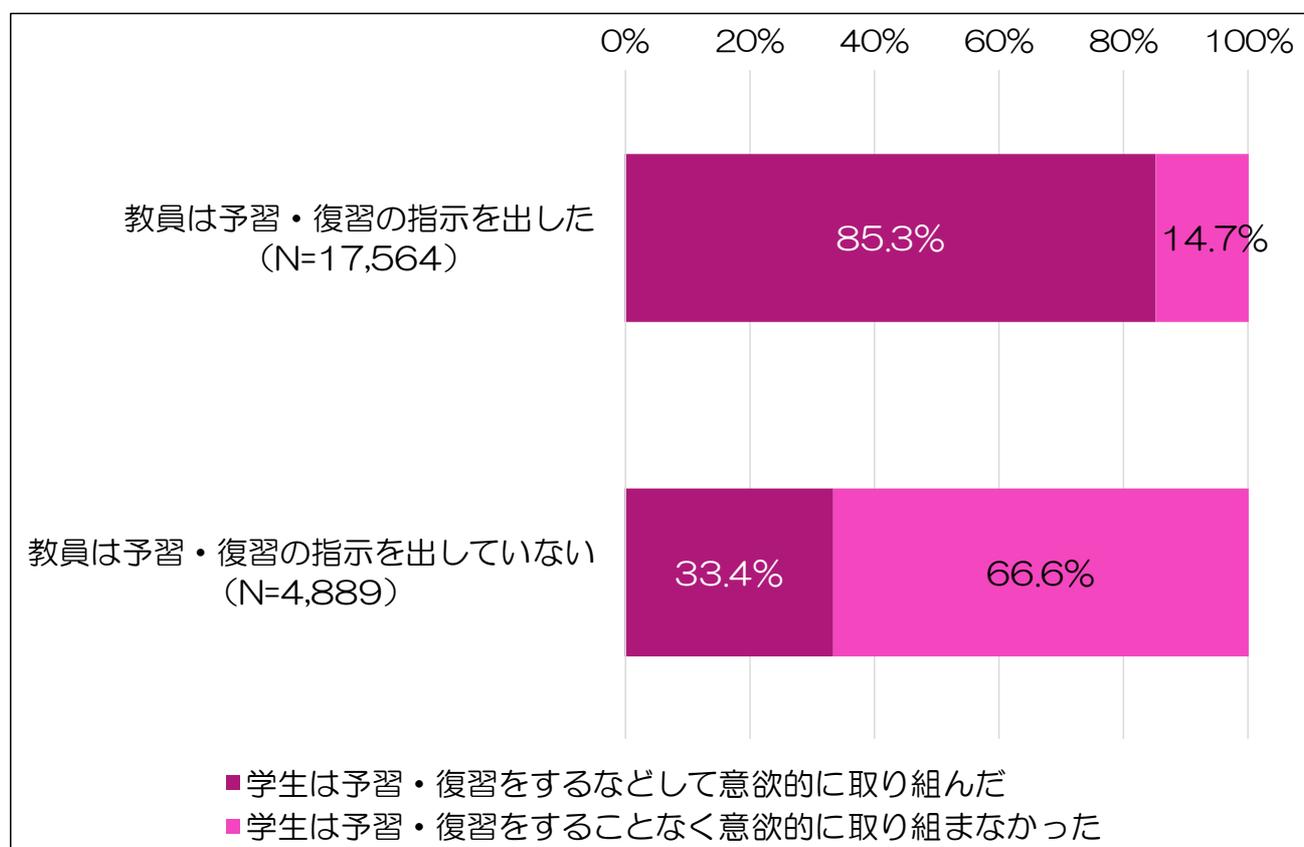


シラバスの事前講読と学生の授業に対するかまえとの関係

3-3 教員の指示と学生の授業に対するかまえ（Q6 と Q10）

- 下の図は、Q6「教員は予習・復習に関する指示を出していませんか」と、Q10「あなたは予習・復習をするなどこの授業に意欲的に取り組みましたか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、教員が予習・復習の指示を出した場合には、「予習・復習をするなどして意欲的に取り組んだ」と回答した学生が、85.3%となりました。
- 一方で、教員が予習・復習の指示を出していない場合には、「予習・復習をするなどして意欲的に取り組んだ」と回答した学生が、33.4%にまで減少する結果となりました。

注 回答件数（22,453 件）

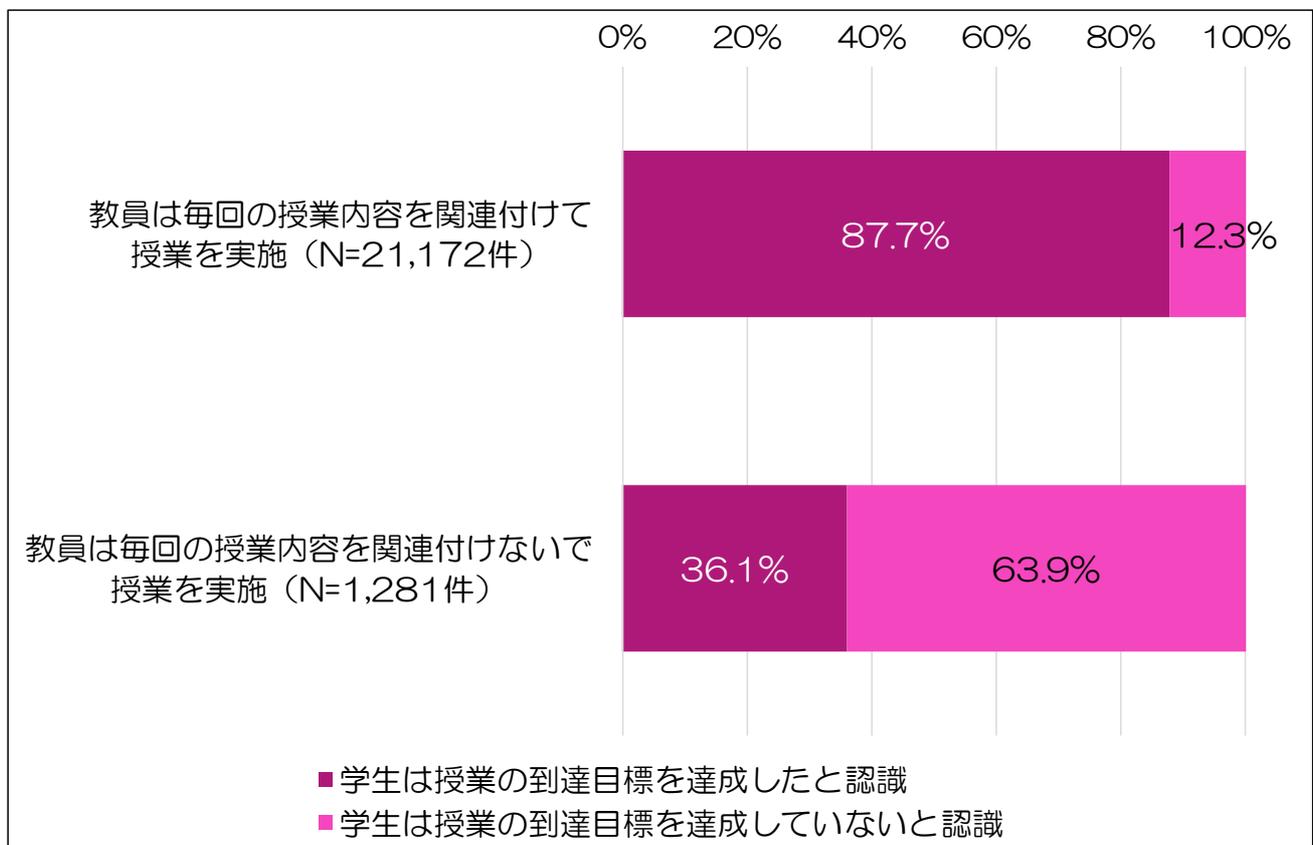


教員の指示と学生の授業に対するかまえとの関係

3-4 授業の進め方と到達目標の達成度合い (Q9 と Q13)

- 下の図は、Q9「毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていましたか」と、Q13「あなたはこの授業の到達目標を達成できたと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、教員が毎回の授業内容を関連付けて授業を実施した場合には、「到達目標を達成した」と回答した学生が、87.7%となりました。
- 一方で、教員が毎回の授業内容を関連付けて授業を実施していない場合には、「到達目標を達成した」と回答した学生が、36.1%にまで減少する結果となりました。

注 回答件数 (22,453 件)

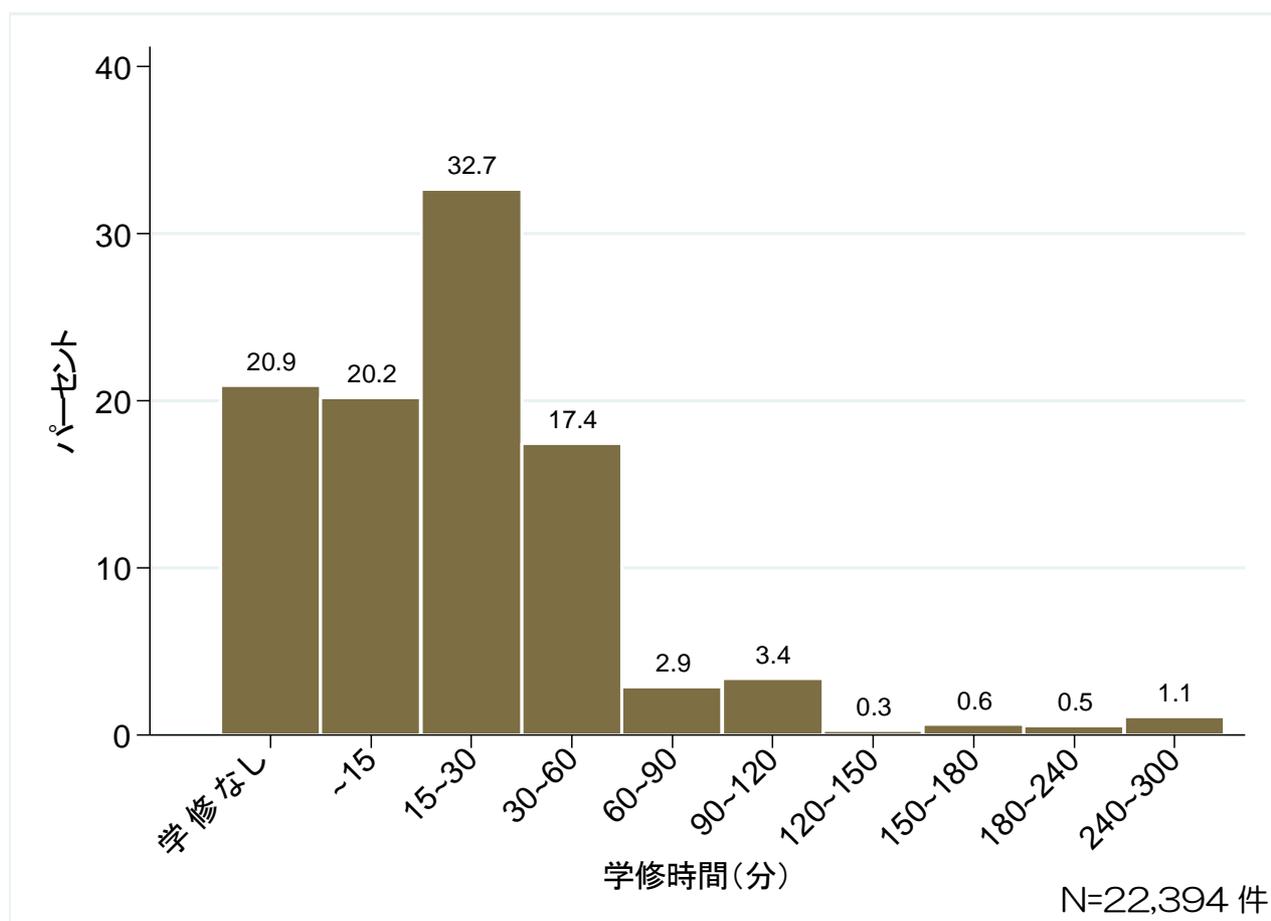


教員の授業の進め方と学生が認識する到達目標の達成度合いとの関係

4. 考察（2）本学学士課程教育の授業外学修時間の現状

4-1 学士課程全体

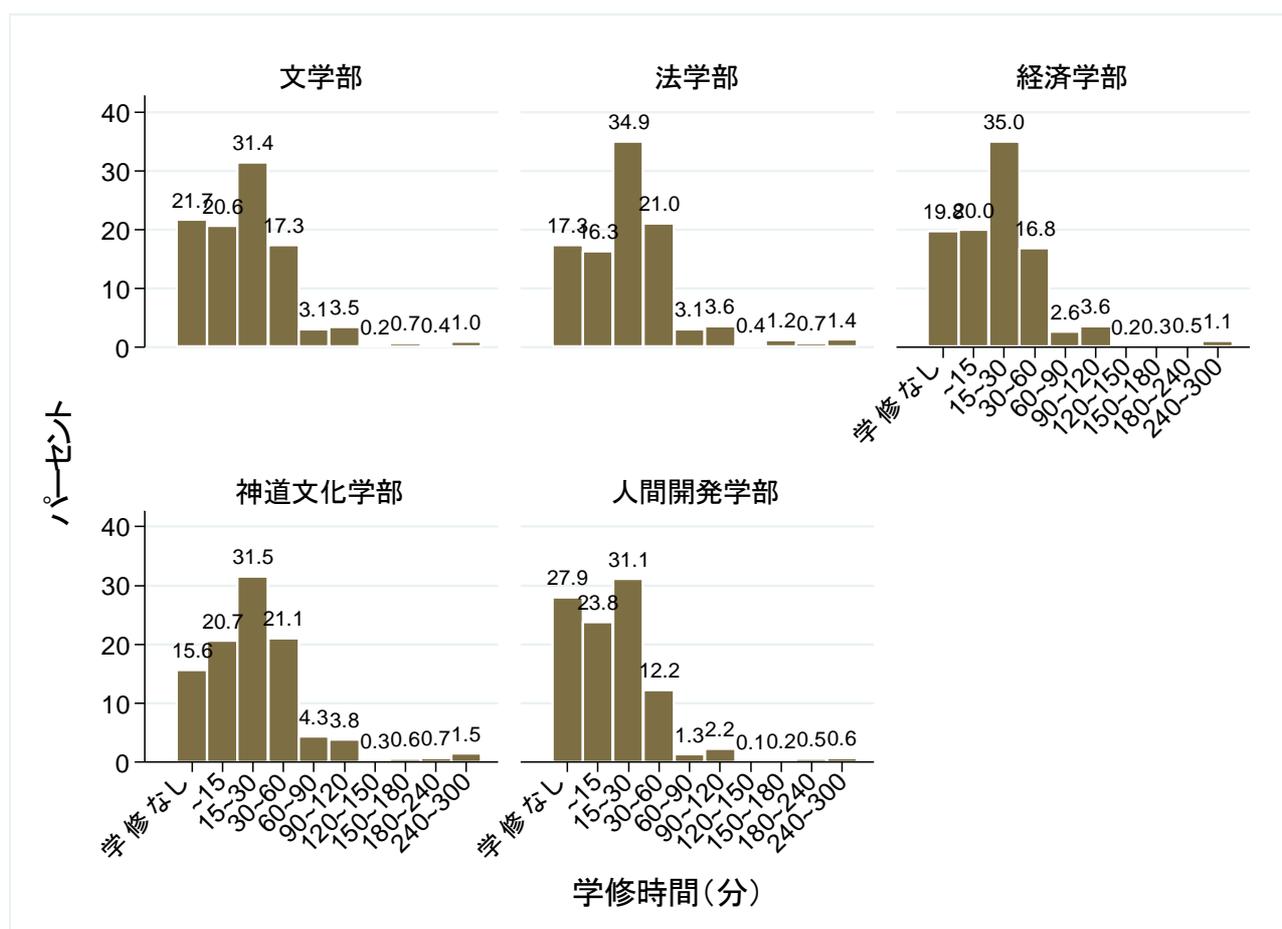
- 以下の図は、Q15「あなたはこの授業1回あたり、平均して何分の授業外学修（予習復習課題等）時間をとりましたか（0～300分の範囲で記入）」の回答結果を示したものです。
- 集計の結果、國學院大學の学士課程教育における授業1科目あたりの授業外学習時間は、平均で33.0分でした。
- 分布を見ると、「15分～30分以内」と回答した学生が32.7%と最も多く、以下は、「学修なし」が20.9%、「15分以内」が20.2%と続きました。



学士課程全体における授業外学修時間の分布

4-2 回答学生の所属学部別

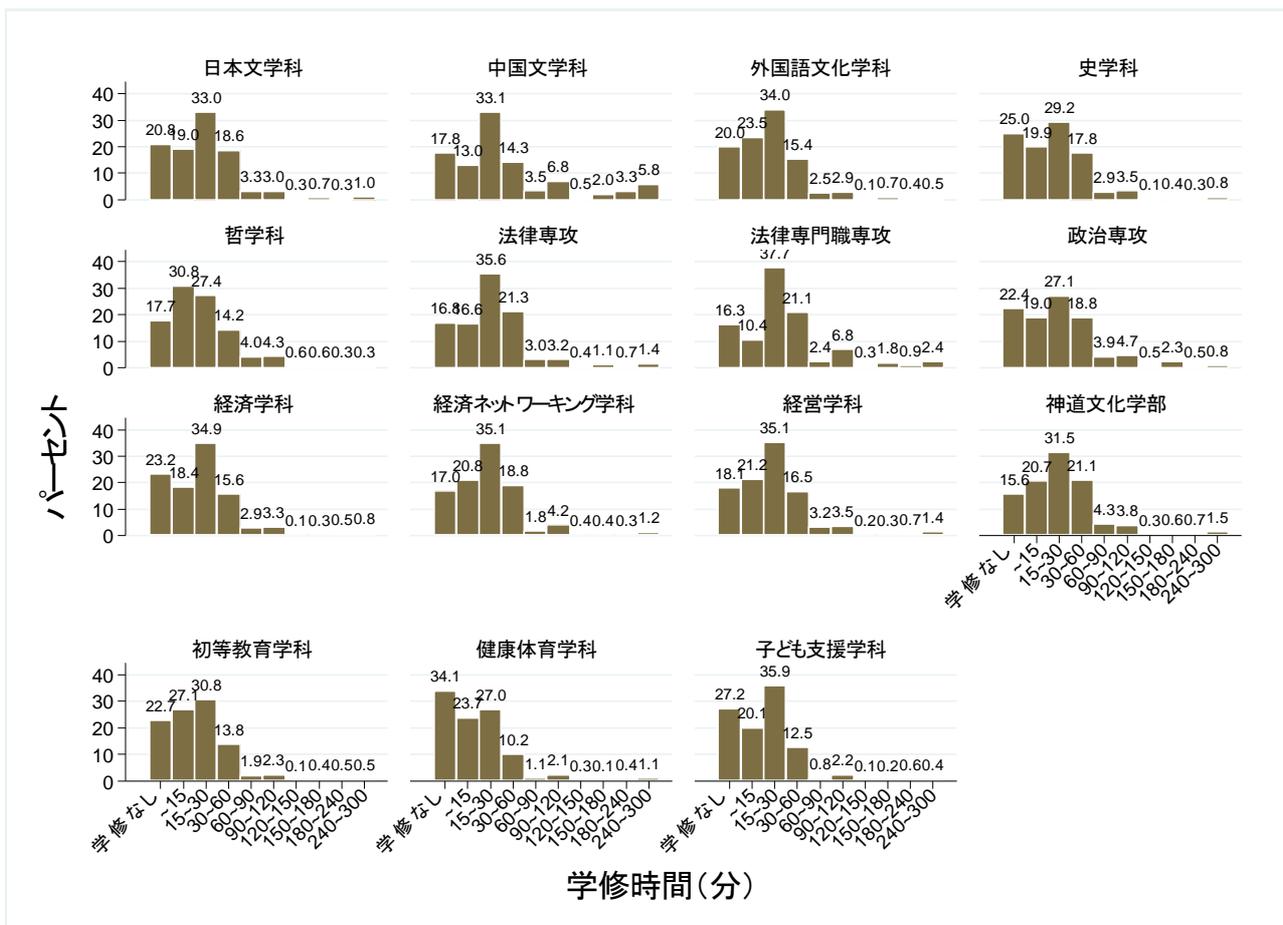
- 次にアンケートに回答してくれた学生の所属学部で区分して、結果を見てみましょう。
- まず平均値を見ると、文学部学生が32.7分、法学部生が38.0分、経済学部生が32.4分、神道文化学部生が38.0分、人間開発学部生が25.2分でした。
- 次に分布の状況を見ると、どの学部でも「15分～30分以内」と回答した学生が最も多くを占めていました。これに続いたのは学部ごとに異なりました。文学部、法学部、人間開発学部では「学修なし」が、経済学部では「15分以内」が、神道文化学部では「30分～60分以内」と回答した学生が多くを占めました。



学生の所属学部別にみた授業外学修時間の分布

4-3 回答学生の所属学科別

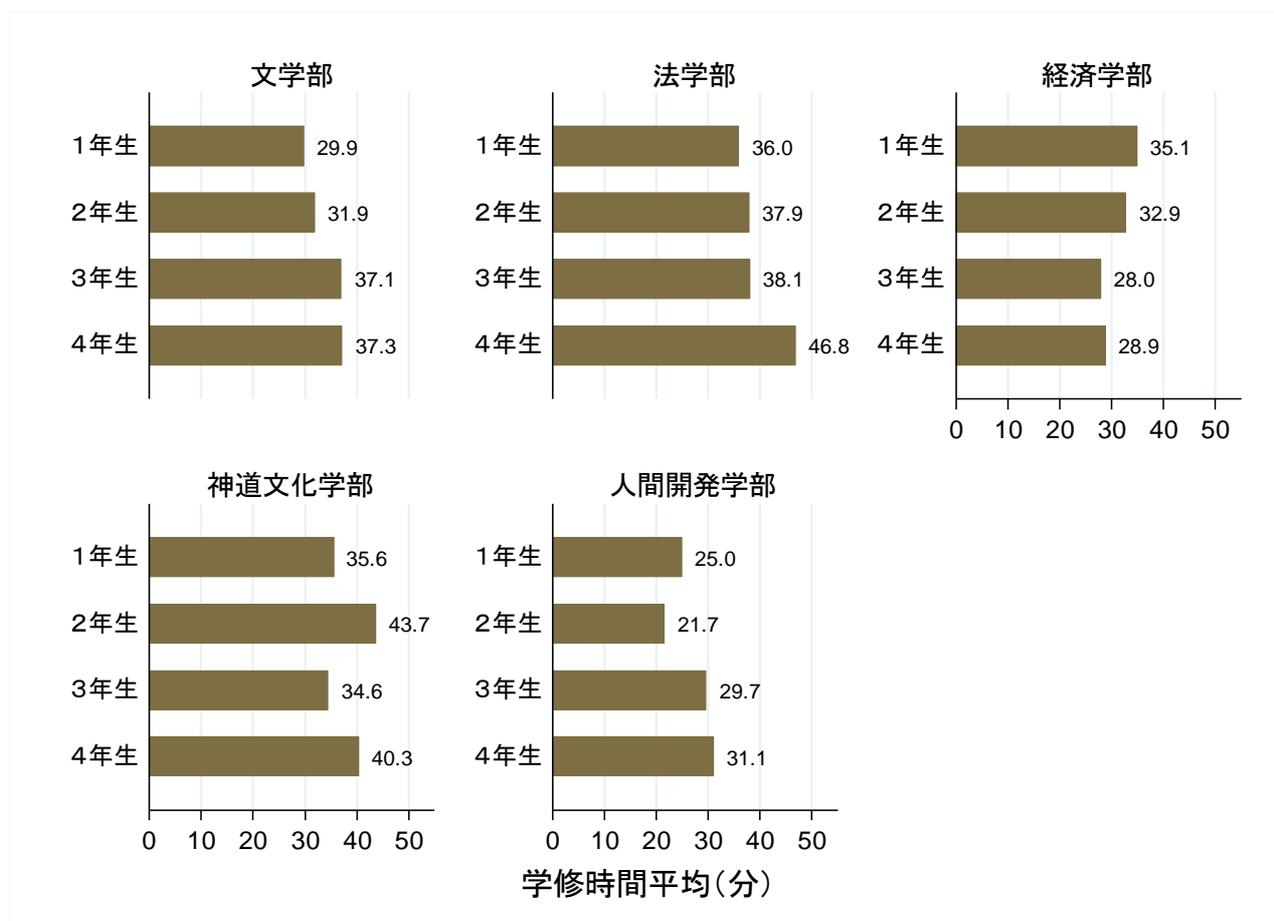
- さらに学科別に見ることで、より詳細に結果を確認してみましょう。
- 哲学科と健康体育学科を除き、やはり学科単位でも「15分～30分以内」と回答した学生が、多くを占める結果となりました。
- 「30分～60分以内」と回答した学生は、最大でも21.3%（法律専攻）にとどまり、概ね10%台という結果となりました。
- 「60分～90分以内」となると、さらに割合は少なくなり、ほぼすべての学科で5%未満となることが確認されました。



学生の所属学科別に見た授業外学修時間の分布

4-4 回答学生の学年・所属学部別

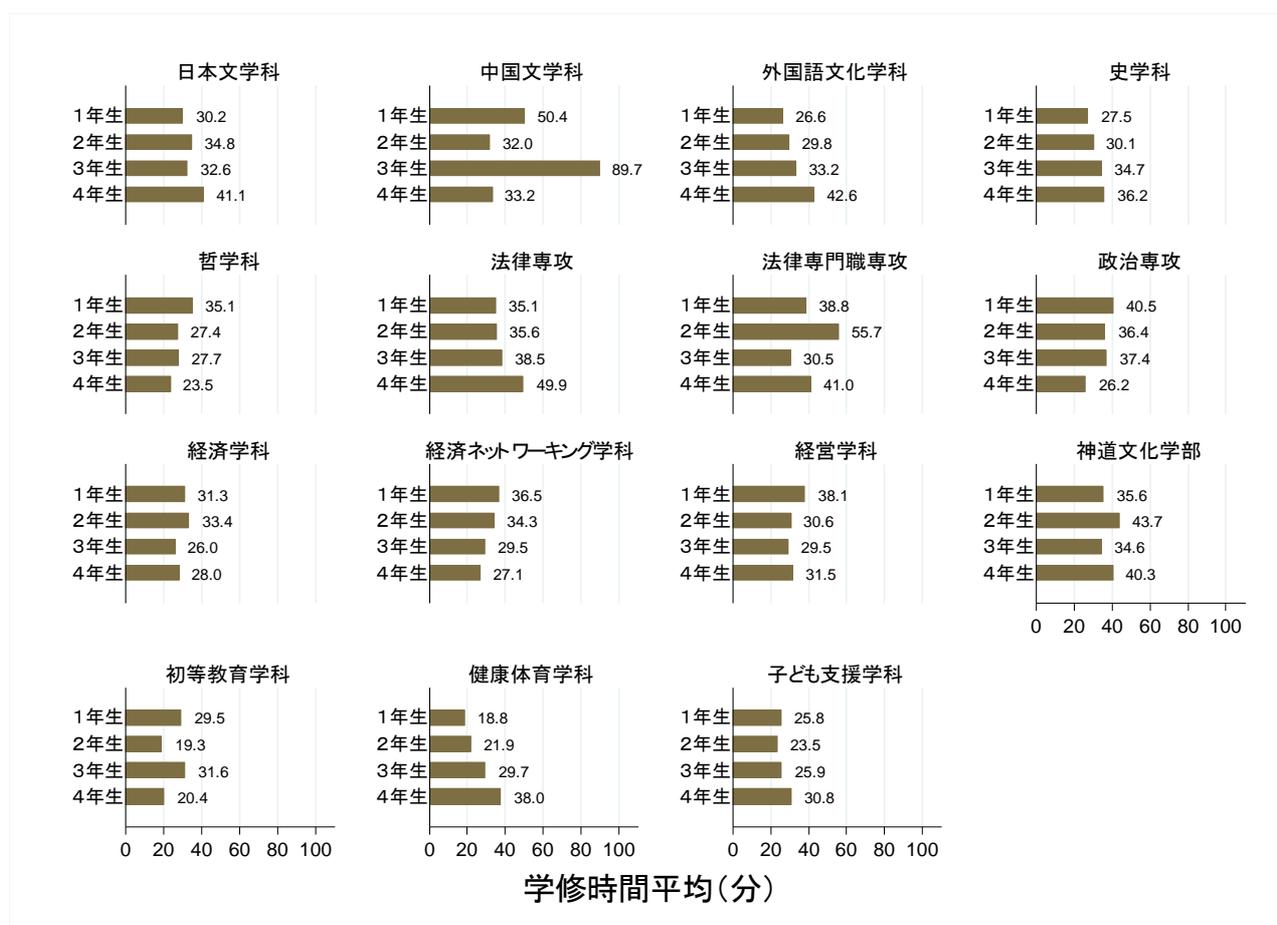
- ここからは回答学生の学年にも注目して、学部別に分布を見てみましょう。
- 下の図を見ると、学年別に見た授業外学修時間の平均値の分布は、学部によって異なることがわかります。
- 文学部、法学部では学年が上がるに連れて授業外学修時間が増える傾向（増加型）にありますが、経済学部ではその反対に学年が上がるに連れて授業外学修時間が減る傾向（減少型）にあるようです。
- 他方で神道文化学部と人間開発学部は凸凹型ですが、その凹凸は異なります。



学生の所属学部と学年別に見た授業外学修時間の平均値

4-5 回答学生の学年・所属学科別

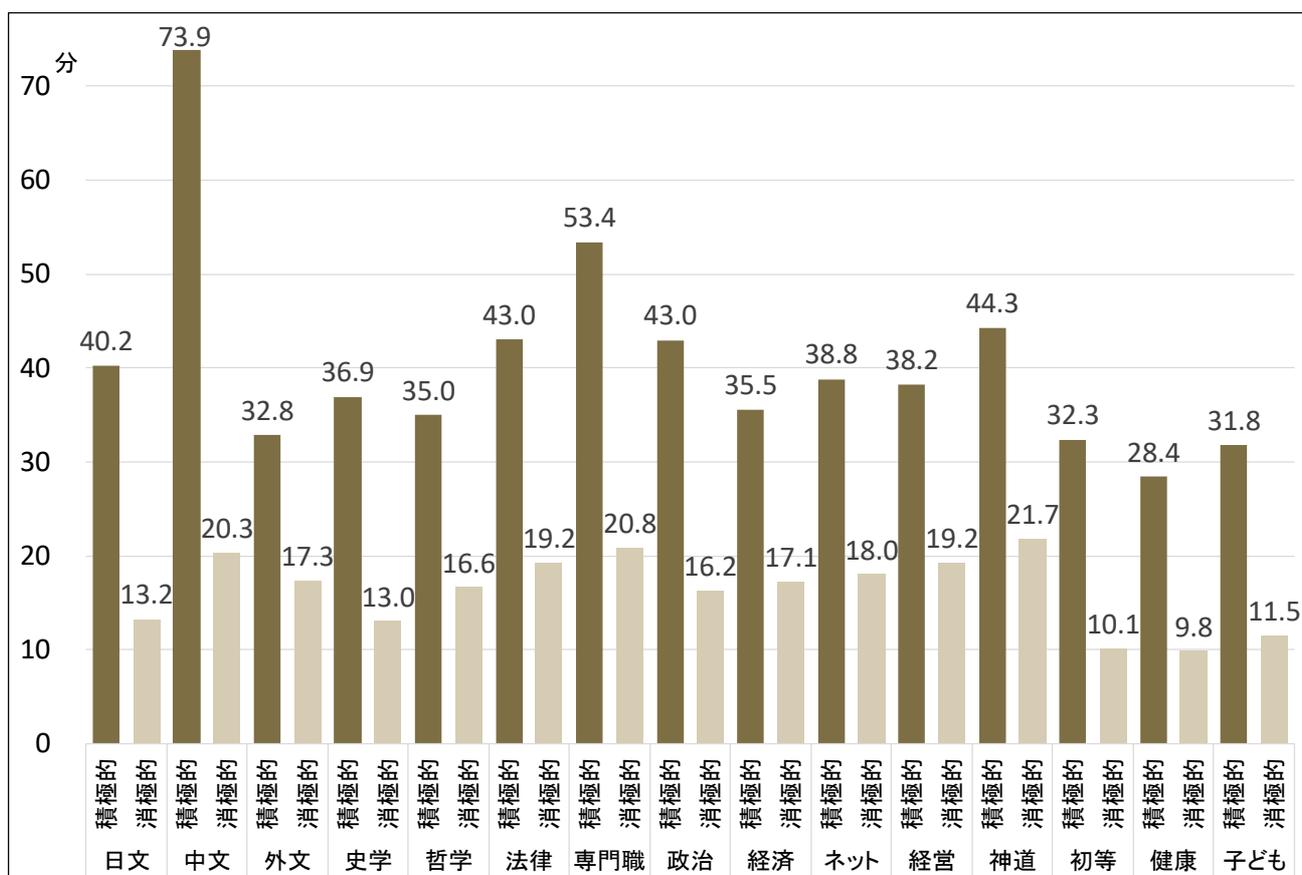
- 4-4 に続いて学科別に見たものが下の図です。
- 図を見ると、同一学部内でも学科・専攻等によって、分布が異なることがわかります。その分布は、大別して4つに分けることができそうです。
- 増加型…外国語文化学科、史学科、法律専攻、健康体育学科
 減少型…哲学科、政治専攻、経済ネットワーク学科
 凸凹型…日本文学科、中国文学科、法律専門職専攻、経済学科、神道文化学部、
 初等教育学科
 凹地型…経営学科、子ども支援学科



学生の所属学科と学年別にみた授業外学修時間の分布

4-6 学生の授業に対するかまえと授業外学修時間

- 下の図は、Q10「あなたは予習・復習をするなどこの授業に意欲的に取り組みましたか」の回答結果と、Q15の授業外学修時間との関係を、学科別に検討した結果を示したものです。
- Q10で「かなりそう思う」と「そう思う」と回答したものを「積極的」とし、「あまりそう思わない」と「思わない」と回答したものを「消極的」としました。
- 「積極的」と回答した場合の平均値は、最大が中国文学科の73.9分で、最小が健康体育学科の28.4分でした。一方で「消極的」と回答した場合の平均値は、最大が神道文化学部の21.7分で、最小が健康体育学科の9.8分でした。

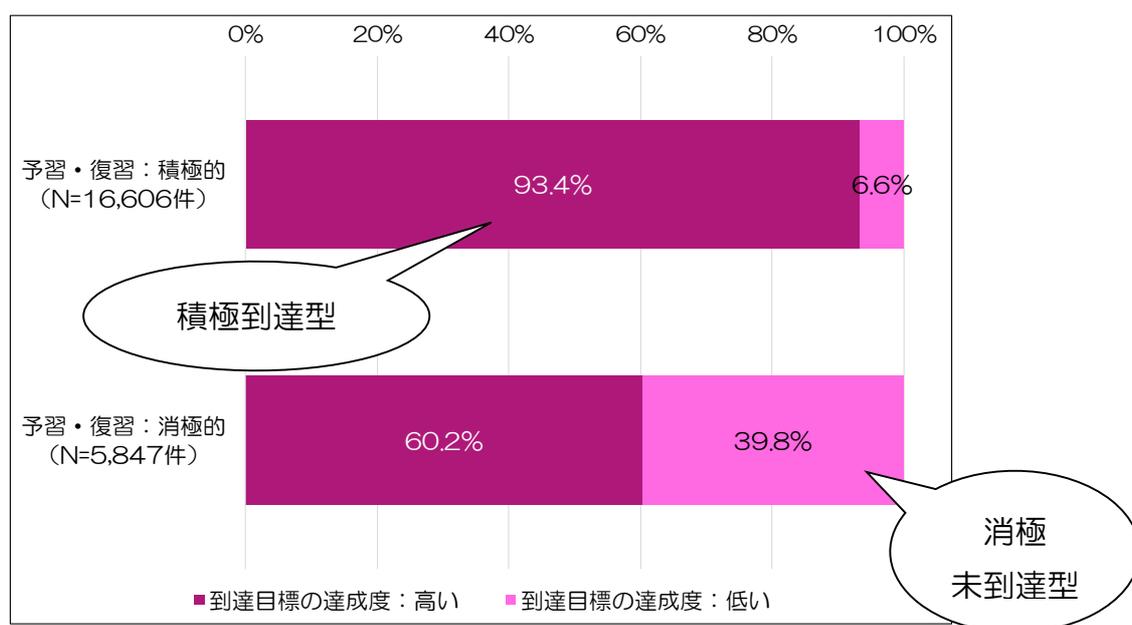


予習・復習の取組状況と学科別にみた授業外学修時間の平均値

4-7 学生の授業に対するかまえと到達目標の達成度による分析

- ここではQ10と、Q13とを用いて、「学生の授業に対するかまえ」と「到達目標の達成度」（内容理解）との関係を検討してみます。
- 下の表と図は同じものを示しています。予習・復習への取り組みが積極的であると回答した学生では、その93.4%が到達目標を達成したと回答しています（積極到達型）。
- 一方で消極的であると回答した学生では、到達目標を達成したと回答した学生が60.2%にとどまり、到達目標の達成度が低いと認識した学生が39.8%という結果になりました（消極未到達型）。

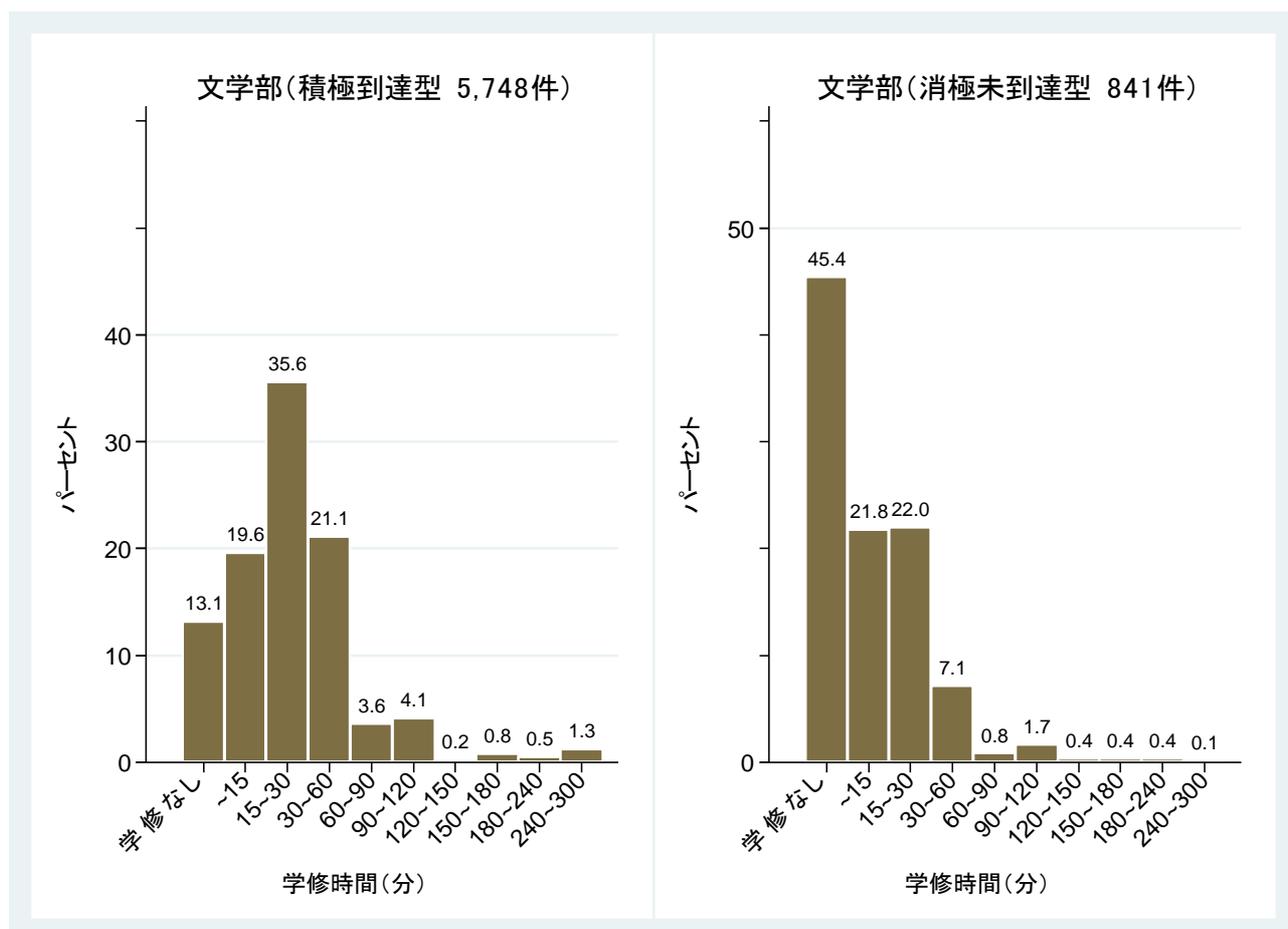
		到達目標の達成度		合計
		低い	高い	
予習・復習 への取り組み	積極的 %	1,098件 6.6%	15,508件 93.4%	16,606件 100%
	消極的 %	2,326件 39.8%	3,521件 60.2%	5,847件 100%
合計 %		3,424件 15.3%	19,029件 84.8%	22,453件 100%



予習・復習と理解度による國學院学生の4類型

4-8 学生の授業に対するかまえと到達目標の達成度からみた学修時間の分布 【文学部】

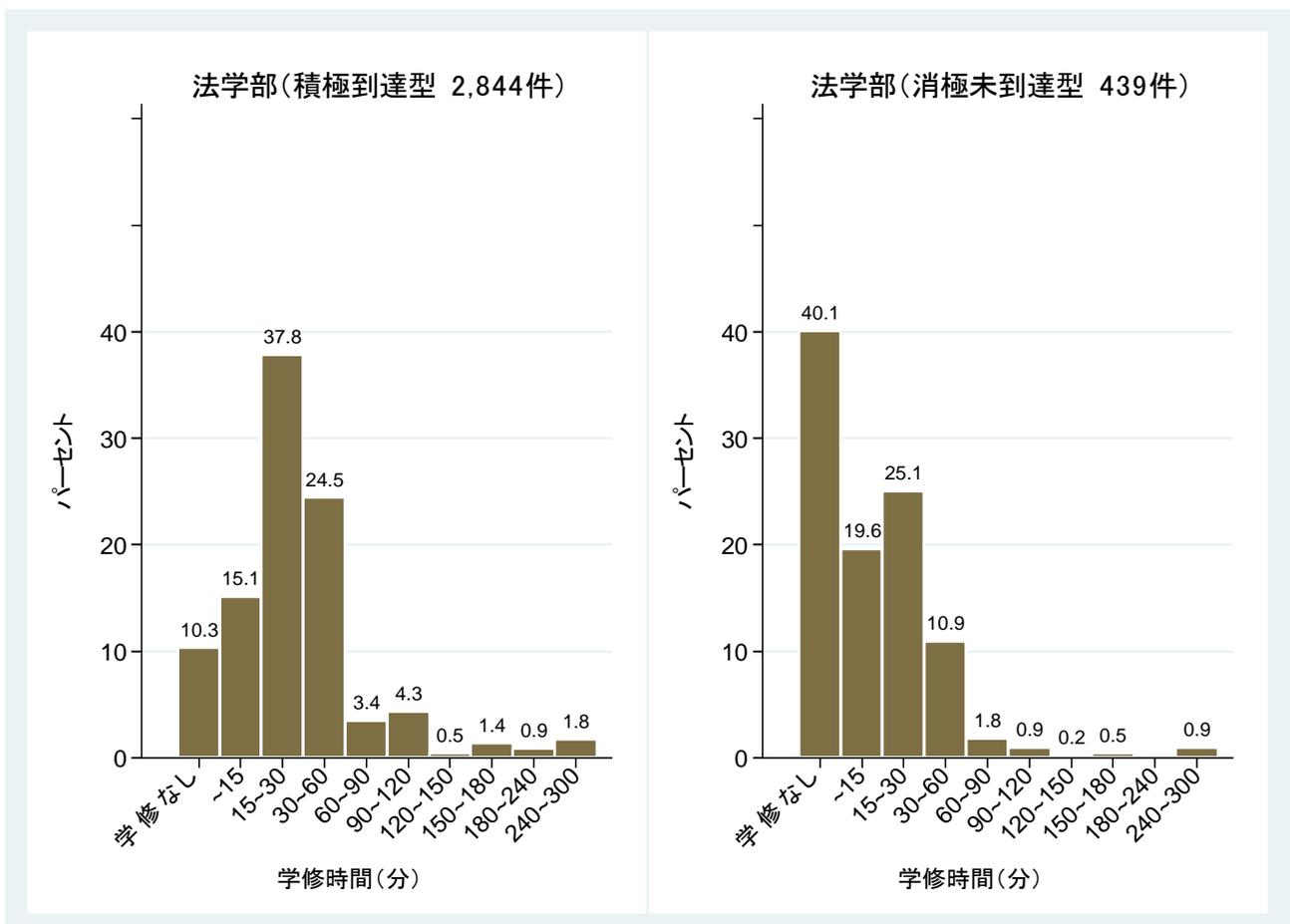
- 4-7では、「積極到達型」と「消極未到達型」の分類を検討しました。
- ここからは学部ごとにその分類を用いて、授業外学修時間の分布を検討します。
- 下の図は、アンケートに回答した文学部生を対象に検討した結果です。
- 「積極到達型」の授業外学修時間の平均値は38.1分で、最多は「15分～30分以内」の35.6%であり、それに「30分～60分以内」の21.1%が続きました。
- 「消極未到達型」の授業外学修時間の平均値は16.9分で、最多は「学修なし」の45.4%であり、それに「15分～30分以内」の22.0%が続きました。



積極到達型と消極未到達型の授業外学修時間の分布：文学部

【法学部】

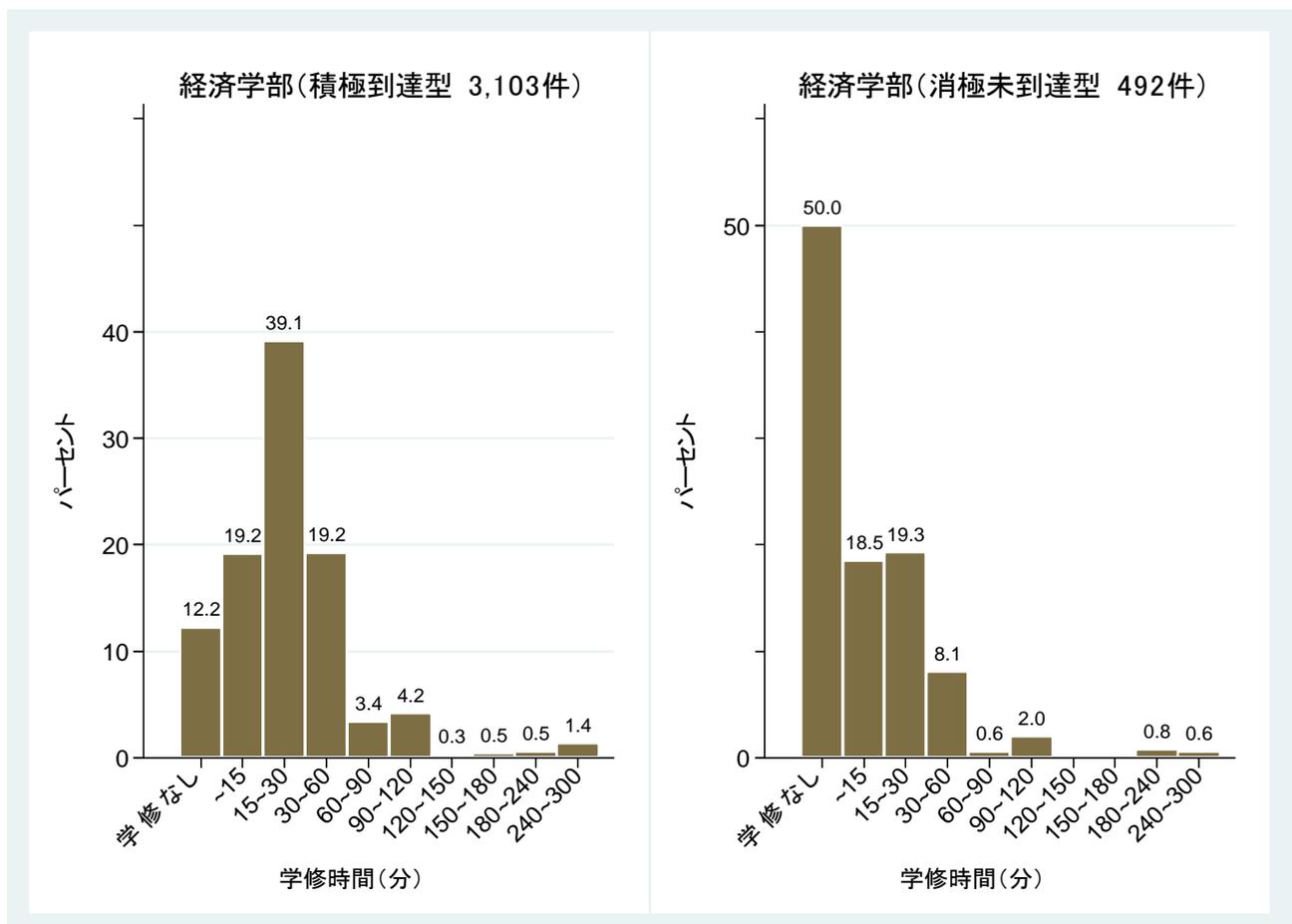
- 下の図は、アンケートに回答した法学部生を対象に検討した結果です。
- 「積極到達型」の授業外学修時間の平均値は 43.6 分で、最多は「15 分～30 分以内」の 37.8%であり、それに「30 分～60 分以内」の 24.5%が続きました。
- 「消極未到達型」の授業外学修時間の平均値は 20.9 分で、最多は「学修なし」の 40.1%であり、それに「15 分～30 分以内」の 25.1%が続きました。



積極到達型と消極未到達型の授業外学修時間の分布：法学部

【経済学部】

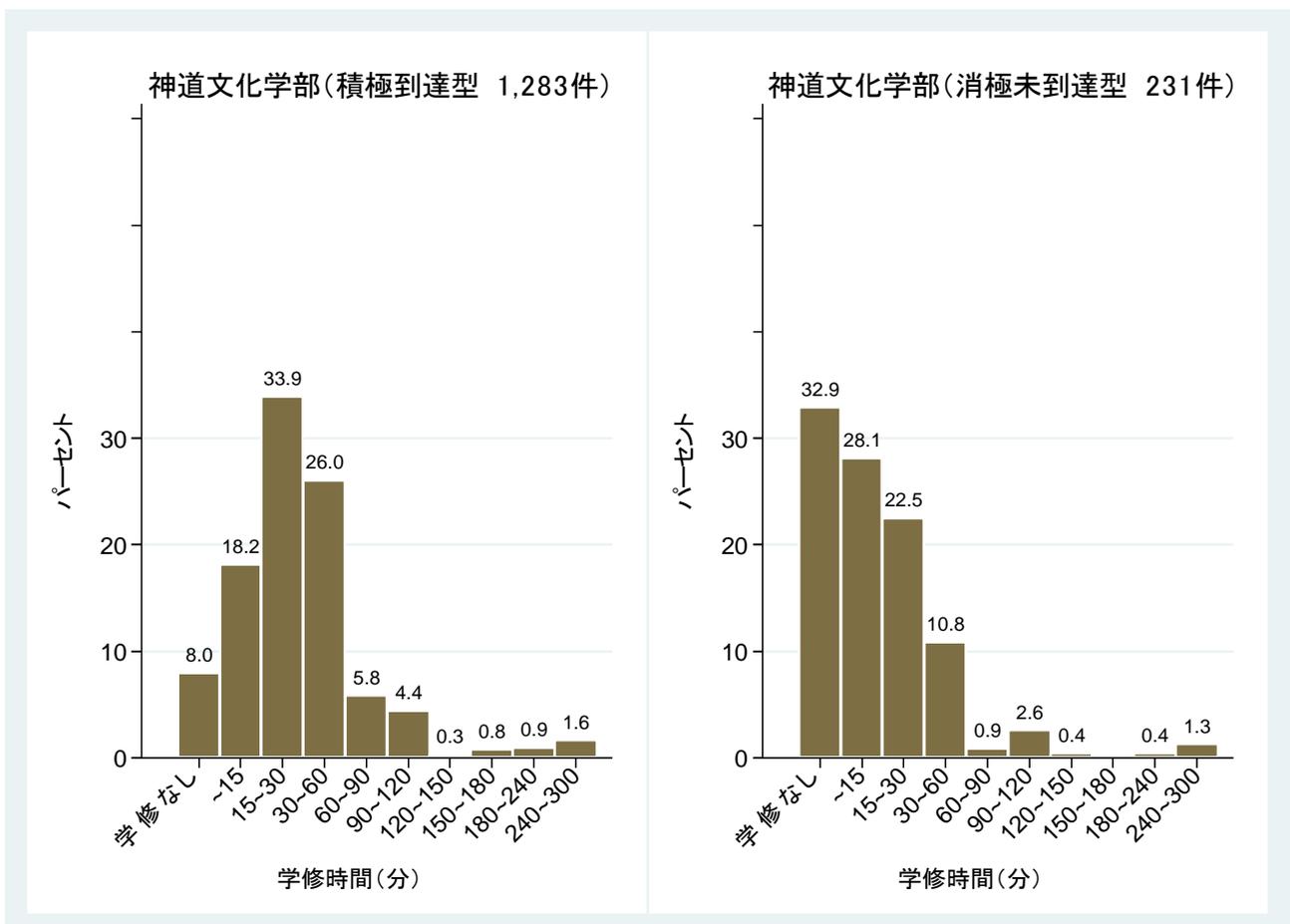
- 下の図は、アンケートに回答した経済学部生を対象に検討した結果です。
- 「積極到達型」の授業外学修時間の平均値は 37.1 分で、最多は「15 分～30 分以内」の 39.1%であり、それに「30 分～60 分以内」と「15 分以内」とが、19.2%で続きました。
- 「消極未到達型」の授業外学修時間の平均値は 18.0 分で、最多は「学修なし」の 50.0%であり、それに「15 分～30 分以内」の 19.3%が続きました。



積極到達型と消極未到達型の授業外学修時間の分布：経済学部

【神道文化学部】

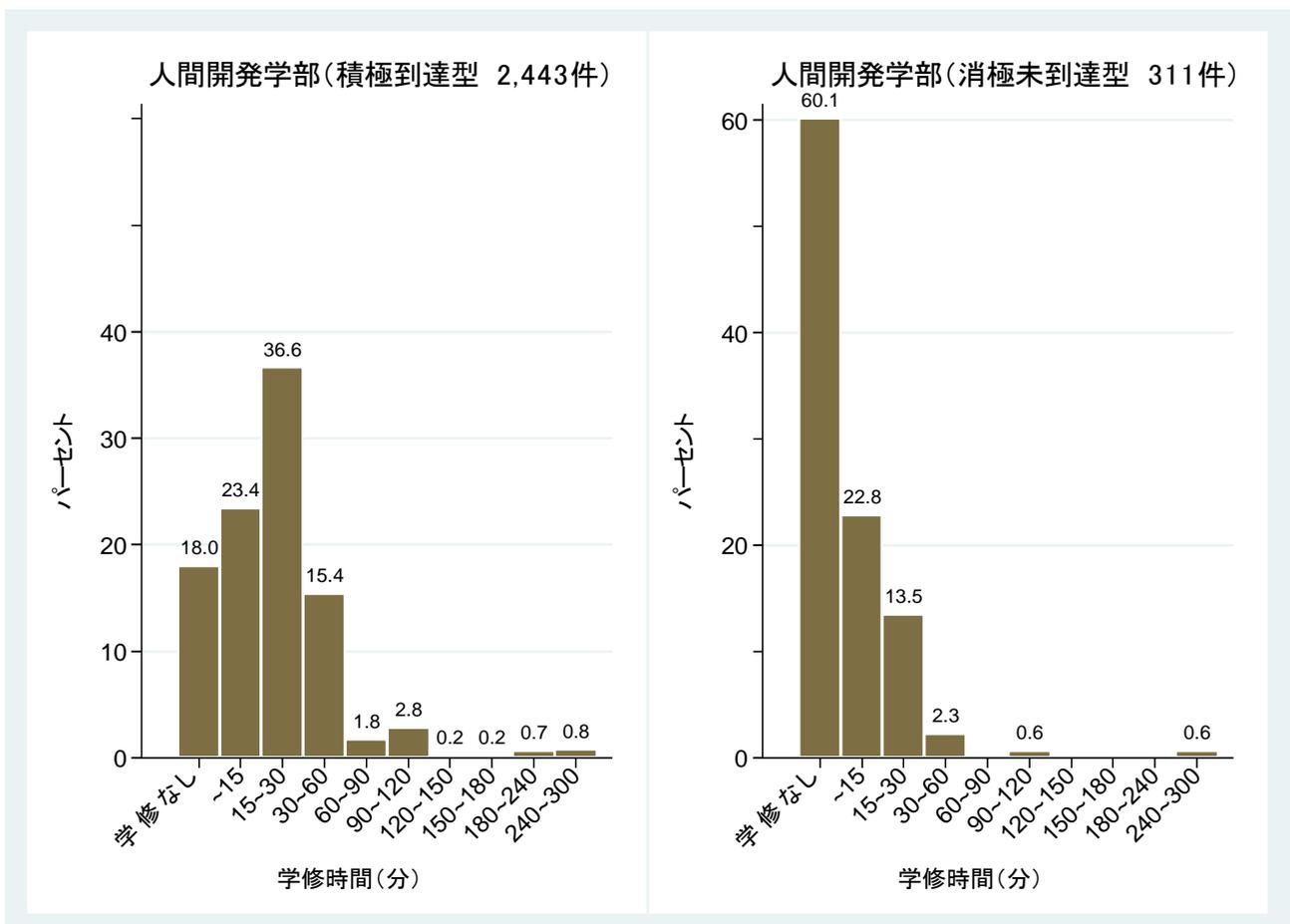
- 下の図は、アンケートに回答した神道科学部生を対象に検討した結果です。
- 「積極到達型」の授業外学修時間の平均値は 44.6 分で、最多は「15 分～30 分以内」の 33.9%であり、それに「30 分～60 分以内」の 26.0%が続きました。
- 「消極未到達型」の授業外学修時間の平均値は 24.0 分で、最多は「学修なし」の 32.9%であり、それに「15 分以内」の 28.1%が続きました。



積極到達型と消極未到達型の授業外学修時間の分布：神道文化学部

【人間開発学部】

- 下の図は、アンケートに回答した人間開発学部生を対象に検討した結果です。
- 「積極到達型」の授業外学修時間の平均値は 30.6 分で、最多は「15 分～30 分以内」の 36.6% であり、それに「15 分以内」の 23.4% が続きました。
- 「消極未到達型」の授業外学修時間の平均値は 10.1 分で、最多は「学修なし」の 60.1% であり、それに「15 分以内」の 22.8% が続きました。



積極到達型と消極未到達型の授業外学修時間の分布：人間開発学部

5. まとめ

これまで平成 28 年度後期授業評価アンケートについて、設問別にいくつかの観点から集計と分析を試みました。ここでは「まとめ」として、これまでの集計結果を簡潔に整理しておきたいと思います。

- 「2. 集計結果」では、Q15 の授業外学修時間と Q16、Q17 の自由記述を除く設問項目について検討してきました。それによると、全体的な傾向としては、総じて学生からは肯定的な回答（肯定回答が 80%以上）を得ていると考えることができるようです（2-1）。
- ただし肯定回答が 80%を下回る設問項目が見られたのも事実です。個々の設問項目を見れば、Q2「教員は授業中、学生に対して積極的な発言や参加を促していましたか」は、双方向型の授業を実現する上で、肯定回答の割合が高いことが望まれる設問項目です。Q6「教員は予習・復習に関する指示を出していましたか」についても、学生に適切な課題を提示し、学修内容の理解とその定着を実現する上で、同じく肯定回答の割合が高いことが望めます。この Q6 の回答結果が、Q10「あなたは予習・復習をするなどこの授業に意欲的に取り組みましたか」に関係していると言っても過言ではありません。全体的な傾向として学生からは肯定的な回答を得ていますが、以上の点については、学士課程教育の質保証という観点に立てば、教員一人ひとりによる自身の授業への振り返りが必要であると言えます（2-1）。

- 平成 28 年度の学生による授業評価アンケートから、到達目標の達成度及び満足度のベスト 30 において、専任教員と兼任教員とを総合したベスト 30 を作成することとなりました。到達目標の達成度ベスト 30 では、専任教員が 14 名、兼任教員が 16 名ランクインしました。満足度ベスト 30 では、専任教員が 17 名、兼任教員が 13 名ランクインしました。（2-2）
- アンケートの回答件数が合計して 30 件以上の教員を対象に、到達目標の達成度、満足度、授業外学修時間とで教員の分布を行ったところ、専任教員は満足度で約 2.8～3.8、到達目標の達成度で約 2.6～3.5 の範囲で分布していました。授業外学修時間の平均値は、35.8 分でした。なお注目される特徴としては、満足度 3.4～3.5 のあたりに多くの専任教員が層を成して分布していますが、到達目標の達成度は 2.8～3.4 と幅広く分

布していたことです。このほぼ同一満足度でありながら、到達目標の達成度にばらつきがあったことは、どのような原因によるのか、詳細な検討が求められます（2-3）。

- 一方で、兼任教員は満足度で約 2.4～3.9、到達目標の達成度で 2.3～3.7 の範囲で分布していました。授業外学習時間の平均値は、30.7 分でした。専任教員の場合と比較して異なったのは、全体的に長く伸びた形で分布していて、教員間でのばらつきが大きかったこと、そして授業外学修時間（バブルの幅）も、専任教員の場合は右斜め上方に分布する教員が比較的多い傾向に見られたのに対し、兼任教員の場合は必ずしもそうではなかったことです。とくに左下の下方に分布する場合でも、相対的に授業外学修時間が多い傾向が見て取れました（2-3）。

- 2-1 の結果を踏まえて、3-2～3-4 では、肯定回答が 80%を下回った設問項目について、クロス集計による検討を行いました。
- 3-2 ではシラバスの事前講読の有無と学生の授業に対するかまえについて検討しました。その結果、学生がシラバスを読んで授業に臨んだか否かで、学生の予習・復習への取り組みといった授業に対するかまえに、大きな差が生じることが明らかになりました。
- 3-3 では教員の指示と学生に授業に対する構えについて検討しました。その結果、教員が予習・復習の指示を出したか否かで、学生の予習・復習への取り組みといった授業に対するかまえに、大きな差が生じることが明らかになりました。
- 3-4 では教員の授業の進め方と到達目標の達成度合いについて検討しました。その結果、教員が毎回の授業内容を関連付けて授業を実施するか否かで、学生が授業の到達目標を達成したと認識する度合いに、大きな差が生じることがわかりました。
- 以上の結果について、より詳細な検討が必要であることは、言うまでもありません。ですが、肯定回答が 80%を下回った設問項目については、授業運営の振り返りの一つの指標として、多様な視点から教員一人ひとりが検討する必要があるとも言えそうです。

- 最後は授業外学修時間についてです。本学の平成 28 年度後期授業科目における授業 1

回あたりの授業外学修時間の平均値は、33.0分でした。ちなみに1年前の平成27年度後期のそれは27.9分でしたので、集計上は5.1分ほど増えた計算になります(4-1)。なお学部別(4-2)、学科別(4-3)に分布をみると、ほとんどの集計区分で「15分～30分以内」と回答した割合が、最も多い傾向にありました。学部学科に加えて、回答した学生の学年にも注目すると、その分布は、「増加型」、「減少型」、「凸凹型」、「凹地型」といった4つに類型化できることも確認できました(4-4及び4-5)。

- 学生の授業に対するかまえと授業外学修時間との関係についても検討しました(4-6)。授業の対する構えが積極的な学生と、そうでない学生とでの授業外学修時間の差は、とても大きく、また学科によってもその差が一様でないことが明らかになりました。
- その授業に対するかまえについて、到達目標の達成度を考慮し、クロス集計を行いました。そこから予習・復習への取り組みが積極的で、到達目標の達成度合いを高く認識する学生を「積極到達型」、予習・復習への取り組みが消極的で、到達目標の達成度合いを低く認識する学生を「消極未到達型」として、学部別に授業外学修時間の検討を行いました(4-7及び4-8)。その結果、「積極到達型」では、「15分～30分以内」と回答したケースが多くを占め、「消極未到達型」では、「学修なし」と回答したケースがかなりの割合を占めていました。

以上が平成28年度後期学生による授業評価アンケートの集計結果から明らかになったことです。肯定回答が十分に得られなかった設問項目については、教員一人ひとりの振り返りまたは改善が求められると言えそうです。授業外学修時間についても、どのような内容で、どの程度の時間を確保するかについて検討が必要だと思われます。これについては学生の皆さんが履修する個々の授業科目での検討はもちろん、履修登録したすべての授業科目を考慮したカリキュラムレベルでの検討も求められます。さらには授業以外の生活時間との兼ね合いも考慮しなければなりません。教育開発推進機構では、各学部の先生方に授業外学修時間の確保と授業内容について意見交換を行い、その成果の一端をすでに報告していますが¹、今後も本学学士課程教育の実質化を目指して、検討を重ねていきたいと思っています。

最後に平成28年度後期学生による授業評価アンケートへご協力いただいた先生方、そして何よりも真摯に回答して下さった学生の皆さんに心よりお礼申し上げます。

¹ 平成29年2月1日発行教育開発推進機構『教育開発ニュース』Vol.15に掲載した「特集 國學院大学における「理想」の授業とは？」(pp.8-14)をご覧ください。

資料編

集計データ

1. 回答者のプロフィール

● 学年

学年	回答件数	%	男性		女性	
			回答件数	対全体%	回答件数	対全体%
1年生	9,318	41.6%	4,594	20.5%	4,724	21.1%
2年生	6,442	28.8%	3,282	14.7%	3,160	14.1%
3年生	4,625	20.6%	2,593	11.6%	2,032	9.1%
4年生	2,013	9.0%	1,245	5.6%	768	3.4%
合計	22,398	100.0%	11,714	52.3%	10,684	47.7%

*科目等履修生（53件）等は性別が登録されていないため、全体の回答件数と性別の回答件数の合計とでは数値が異なる。

● 所属学部

学部	回答件数	%	男性		女性	
			回答件数	対全体%	回答件数	対全体%
文学部	8,442	37.7%	3,553	15.9%	5,089	22.7%
法学部	4,041	18.0%	2,664	11.9%	1,377	6.1%
経済学部	4,448	19.9%	3,039	13.6%	1,409	6.3%
神道文化学部	1,916	8.6%	1,216	5.4%	700	3.1%
人間開発学部	3,551	15.9%	1,442	6.4%	2,109	9.4%
合計	22,398	100.0%	11,714	52.3%	10,684	47.7%

*科目等履修生（53件）等は性別が登録されていないため、全体の回答件数と性別の回答件数の合計とでは数値が異なる。

● 所属学科

学部	回答件数	%	男性		女性	
			回答件数	対全体%	回答件数	対全体%
日本文学科	3,501	15.6%	918	4.1	2,583	11.5
中国文学科	400	1.8%	143	0.6	257	1.1
外国語文化学科	1,103	4.9%	281	1.3	822	3.7
史学科	2,709	12.1%	1,632	7.3	1,077	4.8
哲学科	729	3.3%	379	1.7	350	1.6
法律専攻	3,317	14.8%	2,208	9.9	1,109	5.0
専門職専攻	338	1.5%	174	0.8	164	0.7
政治専攻	386	1.7%	282	1.3	104	0.5
経済学科	1,764	7.9%	1,338	6.0	426	1.9
経済ネットワーク学科	1,297	5.8%	854	3.8	443	2.0
経営学科	1,387	6.2%	847	3.8	540	2.4
神道文化学科	1,916	8.6%	1,216	5.4	700	3.1
初等教育学科	1,271	5.7%	538	2.4	733	3.3
健康体育学科	1,194	5.3%	835	3.7	359	1.6
子ども支援学科	1,086	4.8%	69	0.3	1,017	4.5
合計	22,398	100.0%	11,714	52.3	10,684	47.7

*科目等履修生（53件）等は性別が登録されていないため、全体の回答件数と性別の回答件数の合計とでは数値が異なる。

● 単純集計表

【学士課程教育全体】

No	設 問	かなり そう思う	そう思う	あまり そう思わな い	思わない
Q1	教員の説明や指示は明確で聞き取りやすかったですか。	39.3%	50.6%	7.8%	2.4%
Q2	教員は授業中、学生に対して積極的な発言や参加を促していましたか。	36.1%	43.2%	15.4%	5.4%
Q3	教員の板書や教材（配布資料や映像・情報機器等）の利用は、授業内容の理解に役立ちましたか。	40.5%	51.0%	6.3%	2.2%
Q4	あなたはシラバスを読んだ上で授業に臨みましたか。	31.7%	50.9%	13.1%	4.3%
Q5	教員はシラバスに基づいて、授業を進めていましたか。	33.2%	59.2%	5.8%	1.7%
Q6	教員は予習・復習に関する指示を出していましたか。	29.8%	48.5%	17.4%	4.3%
Q7	あなたから見て、他の履修学生はこの授業に真剣に取り組んでいましたか。	28.8%	54.1%	13.4%	3.7%
Q8	1回1回の授業ごとに学ぶべき内容（単元）が整理されていましたか。	38.4%	54.2%	5.8%	1.7%
Q9	毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていましたか。	39.0%	55.3%	4.4%	1.3%
Q10	あなたは予習・復習をするなどこの授業に意欲的に取り組みましたか。	25.4%	48.6%	20.9%	5.1%
Q11	あなたにとってこの授業の難易度・レベルは適切でしたか。	26.5%	59.4%	11.1%	3.1%
Q12	この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか。	37.7%	51.0%	8.4%	2.8%
Q13	あなたはこの授業の到達目標を達成できたと思いますか。	24.4%	60.3%	12.8%	2.4%
Q14	あなたはこの授業を履修して良かったですか。	41.1%	50.0%	6.1%	2.9%
Q15	あなたはこの授業1回あたり、平均して何分の授業外学修（予習復習課題等）時間をとりましたか。 *0分から300分の範囲で、算用数字で記入してください。例 95	平均値	中央値	最大値	最小値
		30.0分	30.0分	300分	0分
Q16	あなたがこの授業でとても良いと思ったことを書いてください。				
Q17	あなたがこの授業で改善した方が良いと思ったことを書いてください。				

*上記の集計結果は、学士課程学生のほか、別科・専攻科・科目等履修生も含めて集計した結果である。

【文学部学生】

No	設 問	かなり そう思う	そう思う	あまり そう思わな い	思わない
Q1	教員の説明や指示は明確で聞き取りやすかったですか。	40.8%	49.8%	7.5%	2.0%
Q2	教員は授業中、学生に対して積極的な発言や参加を促していましたか。	37.6%	41.4%	16.0%	5.0%
Q3	教員の板書や教材（配布資料や映像・情報機器等）の利用は、授業内容の理解に役立ちましたか。	41.8%	50.5%	6.0%	1.7%
Q4	あなたはシラバスを読んだ上で授業に臨みましたか。	33.3%	51.1%	12.0%	3.6%
Q5	教員はシラバスに基づいて、授業を進めていましたか。	33.8%	59.2%	5.6%	1.4%
Q6	教員は予習・復習に関する指示を出していましたか。	29.3%	47.2%	18.9%	4.6%
Q7	あなたから見て、他の履修学生はこの授業に真剣に取り組んでいましたか。	28.6%	55.1%	13.2%	3.2%
Q8	1回1回の授業ごとに学ぶべき内容（単元）が整理されていましたか。	39.3%	53.6%	5.8%	1.4%
Q9	毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていましたか。	40.1%	54.3%	4.5%	1.1%
Q10	あなたは予習・復習をするなどこの授業に意欲的に取り組みましたか。	24.2%	49.3%	21.4%	5.1%
Q11	あなたにとってこの授業の難易度・レベルは適切でしたか。	26.8%	58.8%	11.5%	2.9%
Q12	この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか。	39.2%	49.9%	8.3%	2.7%
Q13	あなたはこの授業の到達目標を達成できたと思いますか。	23.1%	61.6%	13.0%	2.3%
Q14	あなたはこの授業を履修して良かったですか。	42.6%	48.9%	5.8%	2.7%
Q15	あなたはこの授業1回あたり、平均して何分の授業外学修（予習復習課題等）時間をとりましたか。 *0分から300分の範囲で、算用数字で記入してください。例 95	平均値	中央値	最大値	最小値
		32.6分	30.0分	300分	0分
Q16	あなたがこの授業でとても良いと思ったことを書いてください。				
Q17	あなたがこの授業で改善した方が良いと思ったことを書いてください。				

*上記の集計結果は、回答した学生の所属学部（この場合は文学部）によって集計した結果である。

【法学部学生】

No	設 問	かなり そう思う	そう思う	あまり そう思わな い	思わない
Q1	教員の説明や指示は明確で聞き取りやすかったですか。	40.2%	51.2%	6.2%	2.4%
Q2	教員は授業中、学生に対して積極的な発言や参加を促していましたか。	35.6%	42.9%	15.2%	6.3%
Q3	教員の板書や教材（配布資料や映像・情報機器等）の利用は、授業内容の理解に役立ちましたか。	40.4%	51.4%	5.8%	2.5%
Q4	あなたはシラバスを読んだ上で授業に臨みましたか。	34.6%	52.6%	9.5%	3.2%
Q5	教員はシラバスに基づいて、授業を進めていましたか。	35.1%	58.6%	4.5%	1.8%
Q6	教員は予習・復習に関する指示を出していましたか。	31.7%	49.4%	14.2%	4.8%
Q7	あなたから見て、他の履修学生はこの授業に真剣に取り組んでいましたか。	28.9%	54.0%	13.2%	3.9%
Q8	1回1回の授業ごとに学ぶべき内容（単元）が整理されていましたか。	37.8%	55.4%	5.1%	1.8%
Q9	毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていましたか。	38.8%	55.8%	3.9%	1.5%
Q10	あなたは予習・復習をするなどこの授業に意欲的に取り組みましたか。	26.7%	49.8%	18.4%	5.2%
Q11	あなたにとってこの授業の難易度・レベルは適切でしたか。	25.1%	59.9%	11.7%	3.3%
Q12	この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか。	34.9%	54.3%	8.2%	2.7%
Q13	あなたはこの授業の到達目標を達成できたと思いますか。	24.2%	59.0%	14.2%	2.7%
Q14	あなたはこの授業を履修して良かったですか。	38.6%	53.0%	5.7%	2.7%
Q15	あなたはこの授業1回あたり、平均して何分の授業外学修（予習復習課題等）時間をとりましたか。 *0分から300分の範囲で、算用数字で記入してください。例 95	平均値	中央値	最大値	最小値
		38.0分	30.0分	300分	0分
Q16	あなたがこの授業でとても良いと思ったことを書いてください。				
Q17	あなたがこの授業で改善した方が良いと思ったことを書いてください。				

*上記の集計結果は、回答した学生の所属学部（この場合は法学部）によって集計した結果である。

【経済学部学生】

No	設 問	かなり そう思う	そう思う	あまり そう思わな い	思わない
Q1	教員の説明や指示は明確で聞き取りやすかったですか。	36.7%	50.6%	9.1%	3.6%
Q2	教員は授業中、学生に対して積極的な発言や参加を促していましたか。	32.4%	46.1%	14.3%	7.2%
Q3	教員の板書や教材（配布資料や映像・情報機器等）の利用は、授業内容の理解に役立ちましたか。	37.8%	51.5%	7.4%	3.4%
Q4	あなたはシラバスを読んだ上で授業に臨みましたか。	32.3%	52.5%	11.0%	4.2%
Q5	教員はシラバスに基づいて、授業を進めていましたか。	32.4%	59.5%	6.0%	2.1%
Q6	教員は予習・復習に関する指示を出していましたか。	29.1%	50.5%	16.3%	4.2%
Q7	あなたから見て、他の履修学生はこの授業に真剣に取り組んでいましたか。	27.6%	53.4%	14.3%	4.8%
Q8	1回1回の授業ごとに学ぶべき内容（単元）が整理されていましたか。	35.5%	55.7%	6.2%	2.5%
Q9	毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていましたか。	36.0%	57.5%	4.5%	1.9%
Q10	あなたは予習・復習をするなどこの授業に意欲的に取り組みましたか。	25.6%	48.8%	20.3%	5.3%
Q11	あなたにとってこの授業の難易度・レベルは適切でしたか。	26.3%	58.6%	11.1%	4.1%
Q12	この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか。	34.3%	52.5%	9.6%	3.6%
Q13	あなたはこの授業の到達目標を達成できたと思いますか。	26.3%	58.3%	12.5%	3.0%
Q14	あなたはこの授業を履修して良かったですか。	38.0%	51.1%	7.0%	3.9%
Q15	あなたはこの授業1回あたり、平均して何分の授業外学修（予習復習課題等）時間をとりましたか。 *0分から300分の範囲で、算用数字で記入してください。例 95	平均値	中央値	最大値	最小値
		32.4分	30.0分	300分	0分
Q16	あなたがこの授業でとても良いと思ったことを書いてください。				
Q17	あなたがこの授業で改善した方が良いと思ったことを書いてください。				

*上記の集計結果は、回答した学生の所属学部（この場合は経済学部）によって集計した結果である。

【神道文化学部学生】

No	設 問	かなり そう思う	そう思う	あまり そう思わな い	思わない
Q1	教員の説明や指示は明確で聞き取りやすかったですか。	37.7%	52.8%	7.4%	2.1%
Q2	教員は授業中、学生に対して積極的な発言や参加を促していましたか。	34.9%	42.3%	17.2%	5.6%
Q3	教員の板書や教材（配布資料や映像・情報機器等）の利用は、授業内容の理解に役立ちましたか。	41.7%	51.7%	5.0%	1.6%
Q4	あなたはシラバスを読んだ上で授業に臨みましたか。	32.4%	51.5%	12.9%	3.1%
Q5	教員はシラバスに基づいて、授業を進めていましたか。	34.2%	60.5%	4.4%	0.9%
Q6	教員は予習・復習に関する指示を出していましたか。	28.7%	48.7%	18.4%	4.2%
Q7	あなたから見て、他の履修学生はこの授業に真剣に取り組んでいましたか。	26.8%	55.1%	14.7%	3.4%
Q8	1回1回の授業ごとに学ぶべき内容（単元）が整理されていましたか。	36.9%	56.7%	4.9%	1.5%
Q9	毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていましたか。	39.6%	56.1%	3.3%	0.9%
Q10	あなたは予習・復習をするなどこの授業に意欲的に取り組みましたか。	23.9%	48.2%	22.4%	5.5%
Q11	あなたにとってこの授業の難易度・レベルは適切でしたか。	24.5%	62.5%	10.3%	2.7%
Q12	この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか。	42.1%	47.9%	7.3%	2.7%
Q13	あなたはこの授業の到達目標を達成できたと思いますか。	22.8%	60.2%	14.1%	2.9%
Q14	あなたはこの授業を履修して良かったですか。	43.7%	48.3%	5.1%	2.9%
Q15	あなたはこの授業1回あたり、平均して何分の授業外学修（予習復習課題等）時間をとりましたか。 *0分から300分の範囲で、算用数字で記入してください。例 95	平均値	中央値	最大値	最小値
		38.0分	30.0分	300分	0分
Q16	あなたがこの授業でとても良いと思ったことを書いてください。				
Q17	あなたがこの授業で改善した方が良いと思ったことを書いてください。				

*上記の集計結果は、回答した学生の所属学部（この場合は神道文化学部）によって集計した結果である。

【人間開発学部学生】

No	設 問	かなり そう思う	そう思う	あまり そう思わな い	思わない
Q1	教員の説明や指示は明確で聞き取りやすかったですか。	38.4%	50.5%	8.9%	2.2%
Q2	教員は授業中、学生に対して積極的な発言や参加を促していましたか。	38.2%	44.4%	14.5%	2.9%
Q3	教員の板書や教材（配布資料や映像・情報機器等）の利用は、授業内容の理解に役立ちましたか。	39.9%	51.3%	7.0%	1.8%
Q4	あなたはシラバスを読んだ上で授業に臨みましたか。	23.4%	45.8%	22.8%	8.1%
Q5	教員はシラバスに基づいて、授業を進めていましたか。	30.1%	58.9%	8.4%	2.6%
Q6	教員は予習・復習に関する指示を出していましたか。	29.9%	47.8%	18.7%	3.6%
Q7	あなたから見て、他の履修学生はこの授業に真剣に取り組んでいましたか。	32.2%	52.2%	12.1%	3.4%
Q8	1回1回の授業ごとに学ぶべき内容（単元）が整理されていましたか。	41.0%	51.4%	6.3%	1.4%
Q9	毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていましたか。	40.1%	53.8%	5.1%	1.1%
Q10	あなたは予習・復習をするなどこの授業に意欲的に取り組みましたか。	27.3%	45.1%	22.7%	4.9%
Q11	あなたにとってこの授業の難易度・レベルは適切でしたか。	28.2%	59.7%	9.8%	2.4%
Q12	この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか。	39.1%	50.3%	8.2%	2.5%
Q13	あなたはこの授業の到達目標を達成できたと思いますか。	26.4%	61.3%	10.7%	1.5%
Q14	あなたはこの授業を履修して良かったですか。	42.5%	48.8%	6.5%	2.2%
Q15	あなたはこの授業1回あたり、平均して何分の授業外学修（予習復習課題等）時間をとりましたか。 *0分から300分の範囲で、算用数字で記入してください。例 95	平均値	中央値	最大値	最小値
		25.2分	15.0分	300分	0分
Q16	あなたがこの授業でとても良いと思ったことを書いてください。				
Q17	あなたがこの授業で改善した方が良いと思ったことを書いてください。				

*上記の集計結果は、回答した学生の所属学部（この場合は人間開発学部）によって集計した結果である。

分析・執筆 戸村 理 教育開発推進機構助教

平成 28 年度 教育開発センター委員

(委員長) 柴崎 和夫 教育開発推進機構長・教育開発センター長
仙北谷穂高 教育開発センター副センター長・教学事務部次長
大久保桂子 共通教育センター長・教務部長
樋口 秀実 文学部教授
森川 隆 法学部教授
中馬 祥子 経済学部教授
遠藤 潤 神道文化学部准教授
神事 努 人間開発学部助教
新井 大祐 教育開発推進機構准教授
小濱 歩 教育開発推進機構准教授
戸村 理 教育開発推進機構助教
藤井 哲彦 教務課主任
中條 豊 教育開発推進機構事務課主幹

* 職名は当時

平成 28 (2016) 年度後期
学生による授業評価アンケート分析報告書

編集・発行 國學院大學 教育開発推進機構
教育開発センター

平成 29 年 7 月 26 日

